RICOH

IPSiO SP C241
IPSiO SP C230L

使用説明書
〈ソフトウェアガイド〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

目次

1. 印刷するための準備

2. プリンタードライバー画面と設定方法

3. いろいろな印刷

6. 機器の監視

7. プリントサーバーを使用する

8. Windows の補足情報

9. Mac OS X で使用する

10. 付録

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。

画面で見る使用説明書は付属の CD-ROMに収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、『ハードウェアガイド』「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じです。

はじめにお読みください（）

本製品についてのお問い合わせ先、注意事項を記載しています。また、HTML マニュアルについて説明しています。

安全上のご注意（）

本機を安全にお使いいただくための注意事項を説明します。

故障やけがを防ぐため、本機のご利用前に必ずお読みください。

かんたんセットアップ（）

本機に同梱されています。プリンターを梱包箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバーをインストールするまでの手順を説明しています。

クイックガイド（）

本機に同梱されています。困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

ハードウェアガイド（）

付属の CD-ROM に、HTML 形式と PDF 形式の電子マニュアルが収録されています。用紙に関する情報、消耗品の交換手順、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

ソフトウェアガイド（本書）（）

付属の CD-ROM に、HTML 形式と PDF 形式の電子マニュアルが収録されています。プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

管理者の方へ（）

本機に同梱されています。管理者の方への補足情報がまとめられています。

管理者の方が大切に保管してください。

補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧いただけます。

- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。

使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル	画面で見る使用説明書 HTML 形式のマニュアル	画面で見る使用説明書 PDF 形式のマニュアル
はじめにお読みください	なし	有り（）	なし
かんたんセットアップ	有り（）	なし	有り（）
クイックガイド	有り（）	なし	有り（）
ハードウェアガイド	なし	有り（）	有り（）
ソフトウェアガイド	なし	有り（）	有り（）
管理者の方へ	有り（）	なし	なし
安全上のご注意	有り（）	なし	有り（）

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- **（関係法律）**
    - 紙幣類似証券取締法
    - 通貨及証券模造取締法
    - 郵便切手類模造等取締法
    - 印紙等模造取締法
    - （刑法 第 148 条 第 162 条）

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
- **（関係法律）**
    - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
    - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

おもなオプションと略称

本体に用意されているおもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
500 枚増設トレイ C221	500 枚増設トレイ

- 500 枚増設トレイが装着されている場合、本機では「トレイ 2」と表示されます。

1. 印刷するための準備

この章では、本機に同梱されている CD-ROM からドライバーやソフトウェアをインストールする手順などについて説明します。

接続方法を確認する

本機は、ネットワーク接続または USB 接続できます。

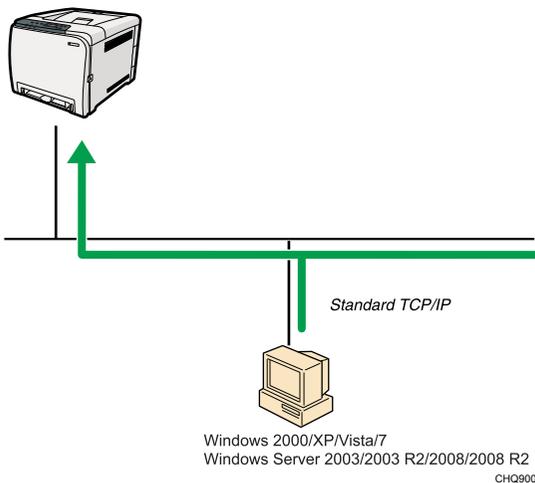
プリンタードライバーをインストールする前に、本機をネットワークまたは USB ケーブルのどちらで接続したかを確認し、それぞれのインストール方法に従って、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへのダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）やサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

ご使用の OS によって使用できるポートが異なります。使用可能なインターフェースはイーサネットです。

本機を Windows の印刷ポートとして使用するときのドライバーのインストール方法については、「ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

対応する OS

Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2

接続方法

イーサネット（10baseT/100baseTX）

使用できるポート

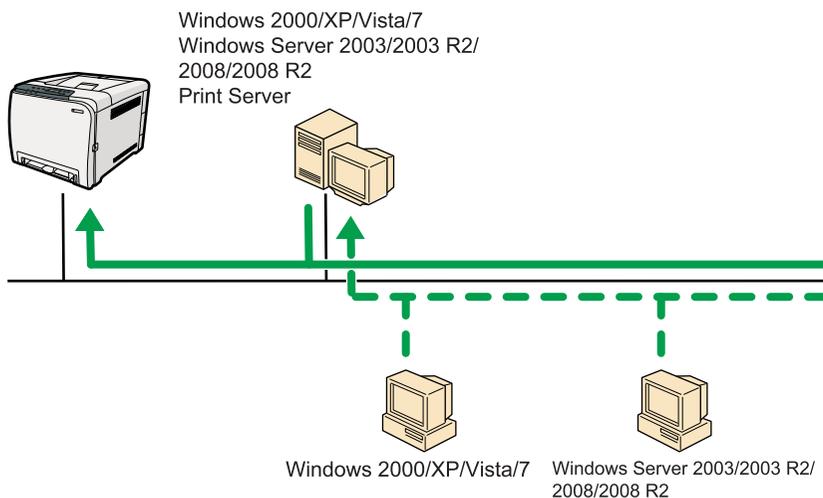
Standard TCP/IP ポート

参照

- P.19「ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする」

プリントサーバーを使用する

本機は、Windows ネットワークプリンターとして使用できます。

本機を、Windows ネットワークプリンターとして使用するときのインストール方法については、「Windows ネットワークプリンターを使う」を参照してください。

参照

- P.21「Windows ネットワークプリンターを使う」

USB 接続

USB ケーブルを使用して、本機を接続します。

本機を USB 接続で使用するときのドライバーのインストール方法については、「USB 接続でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

参照

- P.23「USB 接続でプリンタードライバーをインストールする」

1

プリンタードライバーについて

お使いの OS のバージョンまたはエディションによってはプリンタードライバーのインストール手順が異なる場合があります。詳細は Windows のヘルプを参照してください。

プリンタードライバーのダウンロードについて

プリンタードライバーは、付属の CD-ROM からインストールするか、リコーのホームページからダウンロードできます。

ドライバーをダウンロードするには、リコーのホームページで本機を選択し、お使いの OS を選択してください。（http://www.ricoh.co.jp/download/index.html）

Windows 64bit 版プリンタードライバーのインストールについて

Windows 64bit 版プリンタードライバーは手動でインストールする必要があります。

詳細は P.26「64bit 版プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

補足

- ダウンロードできるプリンタードライバーの OS 別対応状況については、リコーのホームページで確認できます。（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/）

ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする

ネットワーク環境で本機を使用するときの、プリンタードライバーのインストール方法を説明します。

プリンタードライバーをインストールする

重要

- **この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。**

1. すべてのアプリケーションを終了します。

2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3. ［DDST プリンタードライバー］をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読み、同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

［セットアップ方法］ダイアログが表示されます。

5. ［ネットワークからプリンターを検索する］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックします。

プリンターの検索を開始します。

プリンターの検索に失敗した場合は、「プリンターが見つかりませんでした。インストールを続行しますか？」のメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてインストールを続行し、手順 7 に進んでください。

この場合、プリンタードライバーは LPT1 ポート経由でインストールされます。 インストール完了後、ポートの変更をしてください。

6. 検索されたプリンター一覧から、事前に IP アドレスを設定したプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。

[プリンタードライバーの導入] ダイアログが表示されます。

7. 必要に応じて、[プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開して設定します。

8. [完了] をクリックします。

9. [プリンタードライバー導入完了] ダイアログで、[完了] をクリックします。

補足

- 手順 5 でネットワークプリンターの検索に失敗した場合は、「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」を参照してください。
- [完了] をクリックすると、[デジタル署名がみつかりませんでした] という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
- Standard TCP/IP Port 以外のポートにドライバーをインストールした場合、インストール終了後、ポートの設定を変更できます。ポートの設定の変更について詳しくは、「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」を参照してください。

参照

- P.31「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」
- P.20「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」

ネットワークプリンターの検索に失敗した場合

プリンタードライバーのインストール中に、ネットワークプリンターの検索に失敗した場合の設定方法を説明します。

プリンターの IP アドレスを確認する

操作部を使用して、プリンターの IP アドレスを確認します。 プリンターの IP アドレスが正しく設定されていない場合は、IP アドレスを正しく設定し直してください。 IP アドレスの確認と設定方法については、「インターフェース設定メニューを変更する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

1. ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。
2. 本機のアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

   プリンターのプロパティが表示されます。
3. ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
4. ［Standard TCP/IP Port］をクリックし、［新しいポート］をクリックします。

   標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されます。
5. ［次へ］をクリックします。
6. 操作部で確認した本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

   本機の IP アドレスを変更した場合は、新たに設定した本機の IP アドレスを入力してください。
7. ［完了］をクリックします。

• P.93「インターフェース設定メニューを変更する」

Windows ネットワークプリンターを使う

Windows ネットワークプリンターとして、本機を使用する場合のプリンタードライバーのインストール方法を説明します。

ここでは、Windows XP での使用方法を例に説明します。

Windows ネットワークプリンターの設定方法の詳細は、Windows のヘルプを参照してください。

重要

1

- **下記の設定を行うには、事前に本機をネットワークプリンターに設定しておく必要があります。ネットワークプリンターの設定方法については、「プリントサーバーを使用する」を参照してください。**

1.［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

2.［プリンタのインストール］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

3.［次へ］をクリックします。

4.［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

5.［指定したプリンタに接続する］を選択し、［次へ］をクリックします。

6. 共有プリンタの一覧から本機を選択し、［次へ］をクリックします。

7. 本機を通常使用するプリンターに設定するかどうか選択し、［次へ］をクリックします。

8.［完了］をクリックします。

参照

- P.137「プリントサーバーを使用する」

USB 接続でプリンタードライバーをインストールする

ここでは、本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、ドライバーをインストールする方法を説明しています。

セットアップを始める前に USB ケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS 以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

重要

- **この操作を行うには Windows へのログオン時に、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。**

補足

- ご使用の機器のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合、「USB」ポートに接続したプリンターのアイコンが［プリンタと FAX］または［プリンタ］または［デバイスとプリンター］ウィンドウに追加されます。
- USB ケーブルをはじめて使用した場合、お使いの OS によって［新しいハードウェアの検出］や［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。この場合は［キャンセル］をクリックします。

ここでは、Windows XP での使用方法を例に説明します。

1. すべてのアプリケーションを終了します。

2. 本機の電源が切れていること、USB ケーブルが機器と接続されていないことを確認します。

3. 本機に付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

4.［DDST プリンタードライバー］をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

5. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読み、同意する場合は、［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

6.［セットアップ方法］ダイアログで、［USB を使用してプリンターを接続する］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックします。

7.［USB 接続プリンターの選択］ダイアログで、プリンターを選択して、［次へ］をクリックします。

8. 本機の電源が切れていること、USB ケーブルが機器と接続されていないことを確認し、［次へ］をクリックします。

9.［接続先（USB ポート）の自動認識］ダイアログが表示されたら、本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

USB 自動認識の使用を中止する場合は、［自動認識中止］をクリックします。

10. 本機を通常使用するプリンターに設定するかどうか選択します。

11. インストール完了のメッセージが表示されたら、［完了］をクリックします。

12.「再起動の確認」ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、［完了］をクリックします。

補足

- Windows Vista では、CD-ROM をセットしたときに、セキュリティー設定のため、［ユーザー アカウント制御］ダイアログが表示されることがあります。この場合、［許可］をクリックします。
- オートランを使用せずにインストールを行う場合、キーボードの左側の［Shift］キーを押しながら、本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の［Shift］キーを押し続けてください。
- インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷するポート］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- プリンターの接続に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。USB ケーブルが正しく接続され、本機の電源が入っていることを確認して［再試行］をクリックします。

USB 接続がうまくいかないとき

状態	対処方法
本機が自動認識されない。	本機の電源を OFF にして、ケーブルを再接続し、接続した後、電源を ON にしてください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］または［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］から削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の［!］がついたり、黄色の［?］がついたりしています。必要なデバイスを削除しないようにご注意ください。デバイスマネージャへのアクセス方法、デバイスの削除について詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

64bit 版プリンタードライバーをインストールする

1

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 をお使いのとき

1. ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。

2. ［プリンタのインストール］をクリックします。

3. 画面の指示に従ってインストールします。

INF ファイルを選択します。

CD ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

D:¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

Windows Vista、Windows Server 2008 をお使いのとき

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］をクリックします。

3. ［プリンタのインストール］をクリックします。

4. 画面の指示に従ってインストールします。

INF ファイルを選択します。

CD ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

D:¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

Windows 7、Windows Server 2008 R2 をお使いのとき

1. ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。

2. ［プリンターの追加］をクリックします。

3. 画面の指示に従ってインストールします。

INF ファイルを選択します。

CD ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

D:¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

USB 接続を使用する場合

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、プリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

セットアップを始める前に USB ケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS 以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

重要

- **USB 接続でインストールを行う場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

参照

- USB 接続がうまくいかない場合は、P.25「USB 接続がうまくいかないとき」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 と USB で接続する

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

お使いの機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタと FAX] ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。

2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. 本機の電源を入れます。

[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。

4. [いいえ、今回は接続しません] をチェックし、[次へ>] をクリックします。

5. ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］をチェックし、［次へ>］をクリックします。

6. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

7. ［次の場所で最適のドライバを検索する］の［次の場所を含める］をチェックし、［参照］をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

D:¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

8. プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、［次へ>］をクリックします。

9. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

10. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.31「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 と USB で接続する

本機のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、［プリンタ］ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。

2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. 本機の電源を入れます。

4. ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

5. ［オンラインで検索しません］をクリックします。

お使いの OS によっては、この操作が必要ない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6. ［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。

7. ［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

8. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

9. ［参照］をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

D:¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

10. プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

11. ［閉じる］をクリックします。

12. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.31「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 と USB で接続する

本機のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、［デバイスとプリンター］ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。

2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. 本機の電源を入れます。

1

4.［スタート］メニューの［デバイスとプリンター］をクリックします。

5.［未指定］で、インストールしたいプリンターのアイコンをダブルクリックします。

6.［ハードウェア］タブをクリックします。

7. インストールしたいプリンターの名前を選択し、［プロパティ］をクリックします。

Windows Server 2008 R2 の場合、手順 10 へ進んでください。

8.［全般］タブをクリックします。

9.［設定の変更］をクリックします。

10.［ドライバー］タブをクリックします。

11. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

12.［ドライバーの更新］をクリックします。

13.［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックします。

14.［参照...］をクリックして、プリンタードライバーの場所を指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

D:¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

15. プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

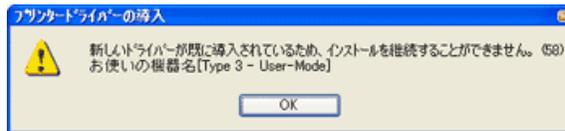
16.［閉じる］をクリックします。

17. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.31「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたときの操作方法に関する説明です。

上記のような（58）のメッセージ、または（34）のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。プリンタの追加またはプリンタのインストールでインストールし直してください

Windows 2000 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
3. ［プリンタの追加ウィザード］に従ってインストールします。

Windows XP Professional、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。
2. ［プリンタのインストール］をクリック、または［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
3. ［プリンタの追加ウィザード］に従ってインストールします。

Windows XP Home Edition の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
2. ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
3. ［プリンタと FAX］をクリックします。
4. ［プリンタのインストール］をクリックします。
5. ［プリンタの追加ウィザード］に従ってインストールします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
2. ［ハードウェアとサウンド］カテゴリーの中から、［プリンタ］をクリックします。

3. ［プリンタのインストール］をクリックします。

4. ［プリンターの追加］ウィザードに従ってインストールします。

1

Windows 7 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

3. ［プリンターの追加］をクリックします。

4. ［プリンターの追加］ウィザードに従ってインストールします。

Windows 2008 R2 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ハードウェア］をクリックします。

3. ［デバイスとプリンター］をクリックします。

4. ［プリンターの追加］をクリックします。

5. ［プリンターの追加］ウィザードに従ってインストールします。

オプション構成や用紙の設定

本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をプリンタードライバーに設定します。

重要

- **プリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。**
- **双方向通信が可能な場合は、有効にしてお使いください。双方向通信が働いていると、パソコン側から本機の用紙設定や本機の状態を取得できます。**

双方向通信が可能な条件

双方向通信が働いていると、パソコン側から本機にセットされている用紙サイズなどの情報を取得できます。また、本機の状態も確認できます。

双方向通信を利用するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- ネットワークで接続している場合

  本機が TCP/IP 標準ポートでネットワークに接続されており、ポートのデフォルト名が変わっていない。

  プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブで、［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けている。

- USB で接続している場合

  本機が USB インターフェースケーブルでパソコンに接続されている。

  プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブで、［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けている。

ここでは Windows XP を例に説明します。

1. **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。**

   ［プリンタと FAX］ウィンドウが表示されます。

2. **使用するプリンターアイコンをクリックします。**
3. **［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
4. **［オプション構成］タブをクリックし、［今すぐ更新］をクリックします。**

   双方向通信が働いていない場合は、手動で装着されているオプションを選択してください。

5. **［用紙サイズ］タブをクリックし、［今すぐ更新］をクリックします。**

   双方向通信が働いていない場合は、手動で使用するトレイと用紙サイズを選択してください。

1

6. ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

- 双方向通信が働いていない場合でも印刷はできますが、印刷中にジョブの状態を取得できません。双方向通信を有効にしてお使いください。

2. プリンタードライバー画面と設定方法

この章ではプリンタードライバー画面の説明と、設定方法について説明します。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows 2000 で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタ］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

★ 重要

- **プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。**
- **プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。**
- **アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。**

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows 2000 が追加するタブで、Windows 2000 の機能に関する設定をします。

［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1.［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2. 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

2

補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

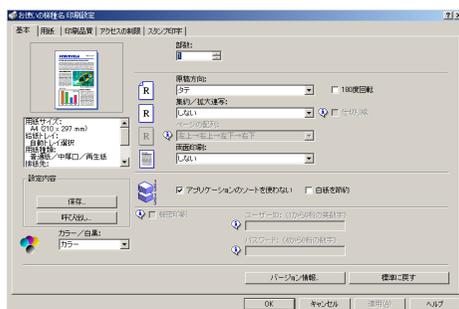
Windows 2000 で［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示する

［プリンタ］ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- **印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。**
- **アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。**

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［アクセスの制限］、［スタンプ印字］タブが表示されます。

［アクセスの制限］タブは、IPSiO SP C241 をお使いの場合のみに表示されます。

［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1.［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2. 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

印刷設定が表示されます。

補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows 2000 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［アクセスの制限］、［スタンプ印字］タブが表示されます。

［アクセスの制限］タブは、IPSiO SP C241 をお使いの場合のみに表示されます。

［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブには［プリンタ］ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows 2000 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログが表示されます。

印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2. プリンターを選択します。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。

- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の手順はアプリケーションによって異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

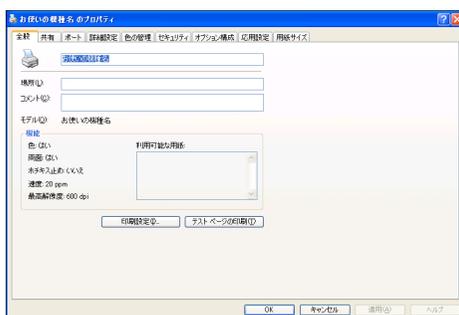
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で［プリンタと FAX］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタと FAX］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

重要

- **プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。**
- **プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。**
- **アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。**

［プリンタと FAX］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］ タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 が追加するタブで、Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の機能に関する設定をします。

［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1. **[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタと FAX]ウィンドウを表示します。**

2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で[プリンタと FAX]ウィンドウから印刷設定を表示する

[プリンタと FAX]ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

重要

- **印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。**
- **アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。**

[プリンタと FAX]ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[アクセスの制限]、[スタンプ印字] タブが表示されます。

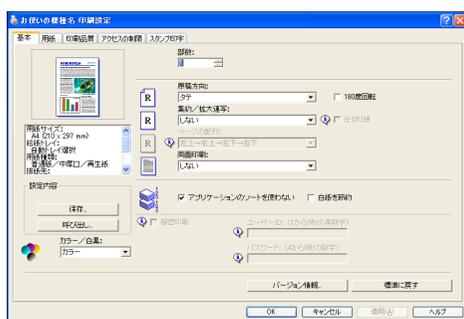
[アクセスの制限]タブは、IPSiO SP C241 をお使いの場合のみに表示されます。

これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1. **[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタと FAX]ウィンドウを表示します。**

2. 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

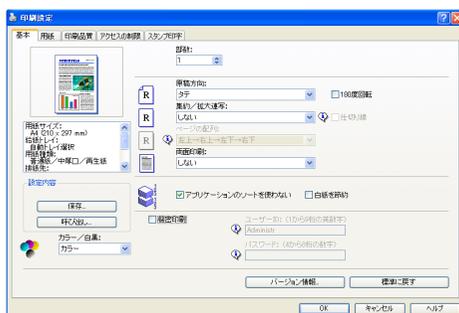
印刷設定が表示されます。

補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［アクセスの制限］、［スタンプ印字］ タブが表示されます。

［アクセスの制限］タブは、IPSiO SP C241 をお使いの場合のみに表示されます。

これらのタブには［プリンタと FAX］ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows XP に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2. プリンターを選択し、［詳細設定］をクリックします。

［印刷設定］ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

- 実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 の場合

Windows Vista,7、Windows Server 2008/2008 R2 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

2

Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタ］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- **プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、管理者権限を持つアカウントでログオンするか、一時的に管理者として実行してください。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。**
- **プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。**
- **アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。**

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows Vista が追加するタブで、Windows Vista の機能に関する設定をします。

［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2. **［ハードウェアとサウンド］カテゴリーの中から、［プリンタ］をクリックします。**

- Windows 7 をお使いの方は、［ハードウェアとサウンド］カテゴリーの中から、［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。
- Windows 2008 R2 をお使いの方は、［ハードウェア］カテゴリーの中から、［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

3. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されるメニューで［プロパティ］をクリックします。**

- Windows 7 または Windows Server 2008 R2 をお使いの方は、初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されるメニューで［プリンターのプロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

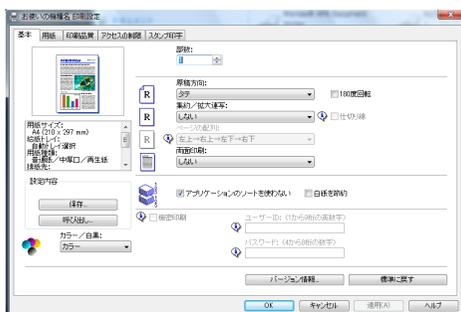
Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 で［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示する

［プリンタ］ウィンドウのドキュメントの既定値から、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- **印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。**
- **アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。**

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［アクセスの制限］、［スタンプ印字］タブが表示されます。

［アクセスの制限］タブは、IPSiO SP C241 をお使いの場合のみに表示されます。

これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1. **[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。**

2. **[ハードウェアとサウンド] カテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。**

- Windows 7 をお使いの方は、[ハードウェアとサウンド] カテゴリーの中から、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 2008 R2 をお使いの方は、[ハードウェア] カテゴリーの中から、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

3. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されるメニューで [印刷設定] をクリックします。**

印刷設定が表示されます。

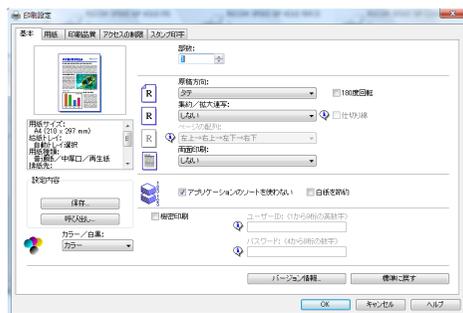
2

補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[アクセスの制限]、[スタンプ印字] タブが表示されます。

[アクセスの制限] タブは、IPSiO SP C241 をお使いの場合のみに表示されます。

[プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows Vista に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2. 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

［印刷設定］ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、標準ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. いろいろな印刷

強制印刷や印刷の中止、ソートなどの印刷機能について説明します。

ユーザーごとに印刷機能を制限する

ユーザーが印刷機能を使用しようとする場合に、ユーザーコードを要求するように設定することができます。

重要

- **お使いの機種が IPSiO SP C241 の場合に、本機能を使用できます。**

以下の機能について、制限することができます。

- PictBridge 印刷
- 印刷（カラーとモノクロ両方を許可）
- カラー印刷（モノクロ印刷は許可）

設定を有効にするには、Web Image Monitor で行います。

ユーザー制限設定を有効にする

認証ユーザーのみが特定の印刷機能を使用することができるようにする方法を説明します。

Web Image Monitor を使用して、以下に挙げている機能のすべて、あるいは一部について、ユーザー制限をかけます。登録ユーザーは以下の機能を使用することができます。

- PictBridge 印刷
- 印刷（カラーとモノクロ両方を許可）
- カラー印刷（モノクロ印刷は許可）

各ユーザーに対して、どの機能に認証をかけるかを設定することができます。最大で 30 ユーザーを登録できます。

1. **Web ブラウザーを起動し、Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
2. **［機能の制限］をクリックします。**
3. **要求された場合、管理者用パスワードを入力し、［適用］をクリックします。**

4. **［使用できる機能］タブで、制限したい機能の［制限する］を選択し、［適用］をクリックします。**

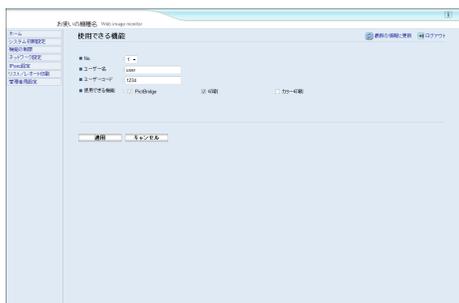
制限したくない機能については、［制限しない］を選択してください。

ユーザー制限設定は、選択された機能について有効です。ユーザー登録の手順に進んでください。

5. **［ユーザーごとの使用できる機能］をクリックします。**

現在登録されているユーザーのリストが表示されます。

6. **ユーザー登録者を選択し、［変更］をクリックします。**

7. **16 文字までの英数字で、固有のユーザー名を［ユーザー名］に入力し、8 桁までの固有のユーザーコードを［ユーザーコード］に入力します。**

制限された機能を使用する場合、ユーザーの認証にユーザーコードが使用されます。

8. **認証を行うユーザーに対して使用を許可する機能を選択します。**

チェックを入れていない機能について、ユーザーコードで認証を受けたユーザーは使用できません。

9. **［適用］をクリックします。**

10. **Web ブラウザーを閉じます。**

- ユーザー登録を設定するには、ユーザー名およびユーザーコードの両方を入力する必要があります。

- 複数のユーザー登録者が、同じユーザー名またはユーザーコードを使用することはできません。

参照

- Web Image Monitor について詳しくは、P.99「Web Image Monitor を使う」を参照してください。

ユーザー登録を変更する

ユーザー登録の変更方法について説明します。

1. **Web ブラウザーを起動し、Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
2. **［機能の制限］をクリックします。**
3. **要求された場合、管理者用パスワードを入力し、［適用］をクリックします。**
4. **［ユーザーごとの使用できる機能］をクリックします。**

   現在登録されているユーザーのリストが表示されます。
5. **変更したい登録者を選択し、［変更］をクリックします。**
6. **必要に応じて変更します。**
7. **［適用］をクリックします。**
8. **Web ブラウザーを閉じます。**

参照

- Web Image Monitor について詳しくは、P.99「Web Image Monitor を使う」を参照してください。

ユーザー登録を削除する

ユーザー登録の削除方法について説明します。

1. **Web ブラウザーを起動し、Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
2. **［機能の制限］をクリックします。**
3. **要求された場合、管理者用パスワードを入力し、［適用］をクリックします。**
4. **［ユーザーごとの使用できる機能］をクリックします。**

   現在登録されているユーザーのリストが表示されます。
5. **削除する登録者を選択し、［削除］をクリックします。**
6. **選択した登録者が削除したい登録者であることを確認します。**

7. ［適用］をクリックします。

8. Web ブラウザーを閉じます。

参照

- Web Image Monitor について詳しくは、P.99「Web Image Monitor を使う」を参照してください。

3

印刷機能が制限された場合

印刷機能が制限された場合、認証ユーザーのみがその機能を使用できます。

ユーザーは、操作部またはプリンタードライバーから認証を受けることができます。

重要

- **お使いの機種が IPSiO SP C241 の場合に、本機能を使用できます。**

以下の表で、制限できる機能とその機能を使用する場合のユーザー認証方法を示します。

制限機能	認証方法
• PictBridge 印刷	デジタルカメラをプリンターに接続した場合、ユーザーは、操作部で有効なユーザーコードを入力します。
• 印刷（カラーとモノクロ両方を許可） • カラー印刷（モノクロ印刷は許可）	印刷を実行する前に、ユーザーは、プリンタードライバーで有効なユーザーコードを入力します。

操作部で認証する

1. **プリンターからユーザーコードを要求された場合、［▼］［▲］キーを使用して、ユーザーコードを入力します。**

   異なるユーザーコードを入力した場合は、認証されません。

2. **［OK］キーを押します。**

プリンタードライバーで認証する

1. **コンピュータ上で印刷するファイルを開きます。**
2. **プリンタードライバーのプロパティを開きます。**
3. **［アクセスの制限］タブをクリックします。**
4. **1～8 桁でユーザーコードを入力し、［OK］をクリックします。**
5. **印刷を実行します。**

   不正なユーザーコードが入力された場合、ジョブは自動的にキャンセルされます（エラーメッセージは表示されません）。

複数のページを集約して印刷する

プリンタードライバーで集約印刷する方法について説明します。集約を設定すると、複数のページを縮小して 1 ページにまとめて印刷ができます。

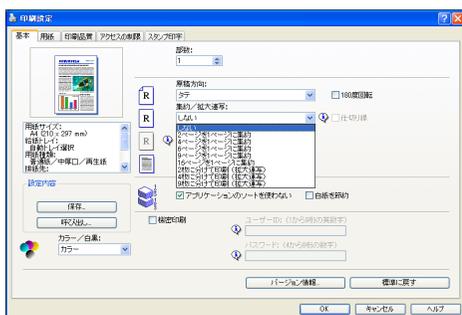
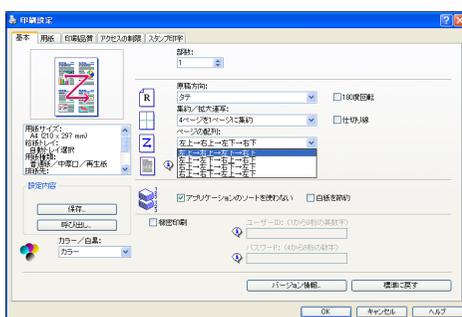
重要

- **以下の手順は Windows XP を例に説明しています。OS により手順は異なる場合があります。**
- **［基本］タブの［両面印刷：］が［中とじ］に選択されている場合や、［用紙］タブの［拡大／縮小%］にチェックが入っている場合、本機能は使用できません。**

3

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。

2. ［基本］タブをクリックします。

3. ［集約／拡大連写：］のプルダウンメニューから集約の種類を選択します。

4. ［ページの配列：］のプルダウンメニューからページの並べ方を選択します。

5. その他の印刷の設定を必要に応じて指定し、［OK］をクリックします。

6. アプリケーションから印刷の指示を出します。

補足

- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがある場合は、そのページの前で改ページします。

- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷する場合は、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。
- 縦横が混在する原稿を集約する場合など、詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

集約印刷の種類

集約の種類について説明します。

集約印刷で 1 ページにまとめることができるのは、2 ページ、4 ページ、6 ページ、9 ページ、16 ページです。ページの並べ方は最大 4 つのパターンの中から任意に選択ができます。

以下の図は 2 ページと 4 ページの場合の集約印刷の例です。

2 ページを 1 ページに集約

- 左から右へ

- 右から左へ

- 上から下へ

BZE009S

4 ページを 1 ページに集約

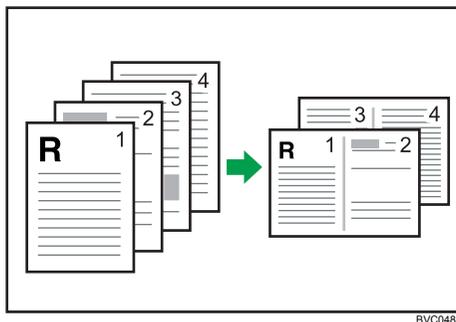
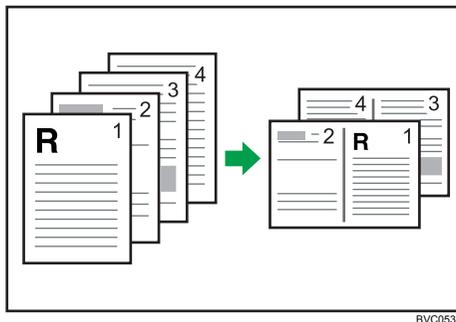
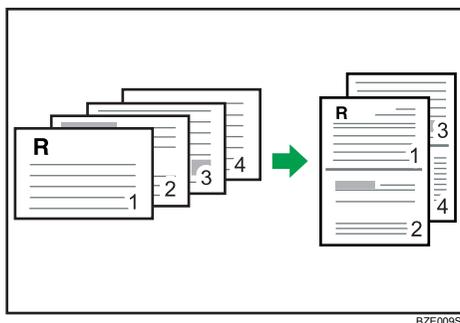
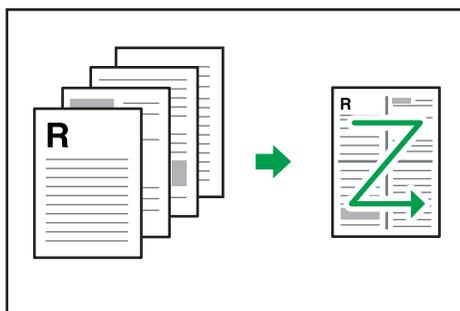
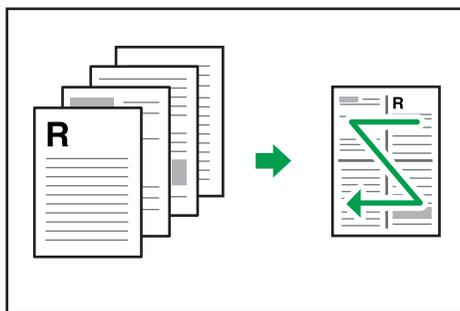
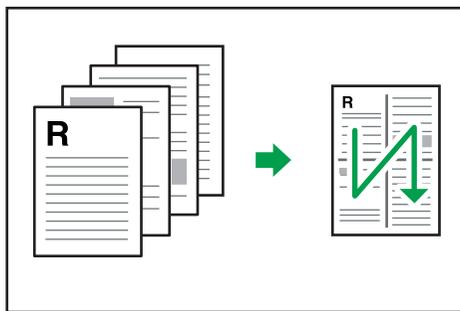
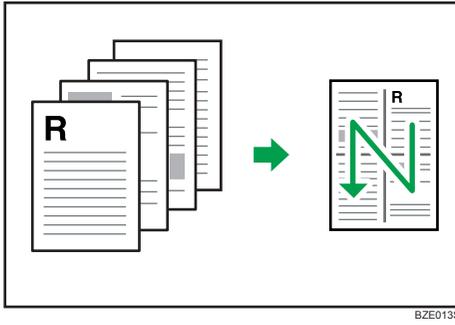
- 左上→右上→左下→右下

BZE010S

- 右上→左上→右下→左下

BZE011S

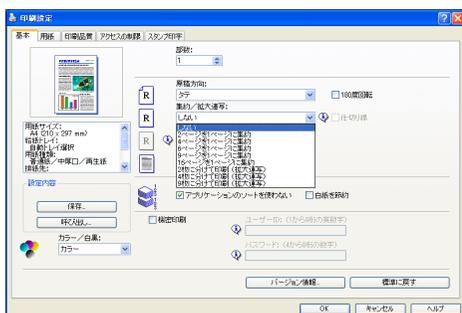
- 左上→左下→右上→右下

BZE012S

- 右上→右下→左上→左下

1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）

1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作ることができます。この機能を拡大連写といいます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

重要

- **以下の手順は Windows XP を例に説明しています。OS により手順は異なる場合があります。**
- **［基本］タブの［両面印刷：］が［中とじ］に選択されている場合や、［用紙］タブの［拡大／縮小%］にチェックが入っている場合、本機能は使用できません。**
- **拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。**

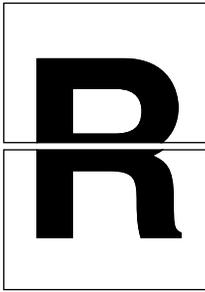
1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。**
2. **［基本］タブをクリックします。**
3. **［集約／拡大連写：］のプルダウンメニューから拡大連写の種類を選択します。**

4. **その他の印刷の設定を必要に応じて指定し、［OK］をクリックします。**
5. **アプリケーションから印刷の指示を出します。**

拡大連写の種類

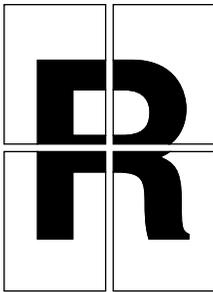
拡大連写の種類について説明します。

ここでは原稿の向きがの場合を例に説明します。

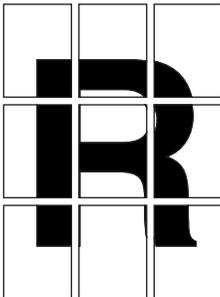
- 2 枚に分けて印刷

  上下 2 枚に分割します。

CAT019S

- 4 枚に分けて印刷

  縦 2 枚、横 2 枚に分割します。

CAT020S

- 9 枚に分けて印刷

  縦 3 枚、横 3 枚に分割します。

CAT021S

補足

- 拡大連写での印刷時は、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することが あります。

機密印刷する

機密機能を使用すると、印刷ジョブにパスワードをかけて保護することができます。

機密印刷を使用すると本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるため、他人に見られる心配がありません。

重要

- **お使いの機種が IPSiO SP C241 の場合に、本機能を使用できます。**

機密印刷文書を保存する

ここでは、プリンタードライバーを使って、プリンターに機密印刷文書を保存する方法について説明します。

1. **印刷する文書をコンピュータで開きます。**
2. **プリンタードライバーのプロパティを開きます。**
3. **プリンタードライバーの［印刷設定］の［基本］タブで、［機密印刷］にチェックをします。**

   ［ユーザー ID:］と［パスワード ID:］のテキストボックスが入力できるようになります。

   ［ユーザー ID:］テキストボックスには、コンピュータアカウントのログインユーザー名、または過去の機密印刷ジョブで使用したユーザー ID が入力されています。
4. **パスワードを半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力し、ユーザー ID を半角英数字 1 文字以上 9 文字以内で入力し、［OK］をクリックします。**
5. **印刷の指示をします。**

   プリンターに機密印刷文書が蓄積されます。操作部でパスワードを入力することで、印刷できます。

補足

- 印刷した場合や、プリンターの電源を切った場合、機密印刷文書はプリンターのメモリーから自動的に消去されます。
- 一度に 5 ジョブまたは 5MB の機密印刷文書を保存することができます。
- 機密印刷ファイルをこれ以上プリンターに保存できない場合でも、［インターフェースセッテイ］メニューの［タイムアウト： キミツインサツ］で設定した時間の間、新たな機密印刷文書を保持します。設定した時間の間、新しい機密印刷ファイルを印刷または削除することができます。現在保存している機密印刷ファイルを印刷または削除し、新しい機密印刷ファイルをプリンターに保存するようにもできます。
- 機密印刷文書が中止された場合、プリンターはキャンセルログを自動記録します。このログでどの機密印刷ジョブが中止されたかを判別することができます。

参照

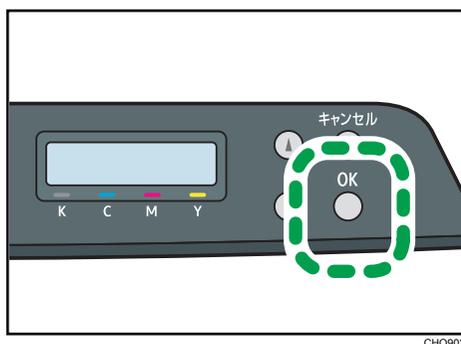
- [タイムアウト： キミツインサツ] について詳しくは、P.93「インターフェース設定メニュー」を参照してください。

機密印刷文書を印刷する

プリンターに機密印刷文書が保存されている場合、操作部の画面に [キミツインサツブンショデス OK キーヲ オシテクダサイ] が表示されます。

キミツインサツブンショデス
OK キーヲ オシテクダサイ

以下の手順で機密印刷文書を印刷します。

1. 機密印刷メッセージが表示された場合、[OK] キーを押します。

2. [▼] [▲] キーで印刷したい文書を選択して、[OK] キーを押します。

キミツインサツブンショ
HH:MM ユーザーコード

[HH:MM] は機密印刷文書が保存された時間になります。[ユーザーコード] はプリンタードライバーで入力したユーザー ID になります。

3. [▼] [▲] キーを押して [インサツスル] を表示させ、[OK] キーを押します。
4. [▼] [▲] キーを押してパスワードを入力します。

次のフィールドに進むには、[OK] キーを押します。

入力を破棄し、前の階層に戻るには、[キャンセル] キーを押します。

5. [OK] キーを押します。

機密印刷文書が印刷されます。

補足

- 以下のキーを使用して操作を中止します。

- [キャンセル]：操作を中止し、前階層の画面に戻ります。
- [メニュー]：操作を中止し、初期画面に戻ります。

- プリンターが印刷中の場合、機密印刷文書を印刷できません。
- 操作部でパスワードを入力中の場合、プリンターは他の印刷ジョブを開始できません。
- 印刷した場合や、プリンターの電源を切った場合、機密印刷文書はプリンターのメモリーから自動的に消去されます。

3

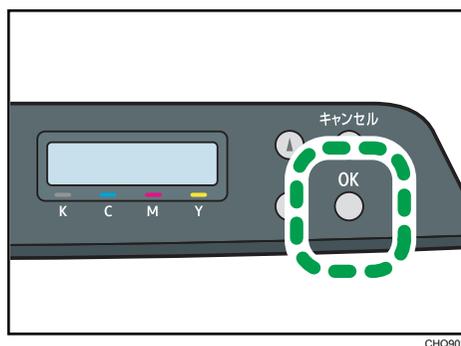
機密印刷文書を削除する

プリンターに機密印刷文書が保存されている場合、操作部の画面に［キミツインサツブンショデス OK キーヲ オシテクダサイ］が表示されます。

キミツインサツブンショデス OK キーヲ オシテクダサイ

以下の手順で機密印刷文書を削除します。機密印刷文書を削除する場合、パスワード入力は不要です。

1. 機密印刷メッセージが表示された場合、［OK］キーを押します。

CHQ902

2. ［▼］［▲］キーで削除したい文書を選択して、［OK］キーを押します。

キミツインサツブンショ HH:MM ユーザーコード

［HH:MM］は機密印刷文書が保存された時間になります。［ユーザーコード］はプリンタードライバーで入力したユーザー ID になります。

3. ［▼］［▲］キーを押して［サクジョスル］を表示させ、［OK］キーを押します。
4. ［▼］［▲］キーを押して［ジッコウ］を表示させ、［OK］キーを押します。

機密印刷文書が削除されます。

機密印刷文書／ログがプリンターに残っている場合、機密印刷文書／ログのリスト画面に戻ります。もし何も残っていない場合は、初期画面に戻ります。

補足

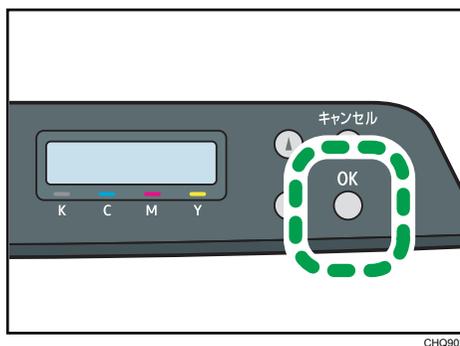
- 以下のキーを使用して操作を中止します。
    - [キャンセル]：操作を中止し、前階層の画面に戻ります。
    - [メニュー]：操作を中止し、初期画面に戻ります。

どの機密印刷文書が中止されたかを確認する

機密印刷文書ジョブが中止された場合、プリンターはキャンセルログを自動記録します。もしプリンターがキャンセルログを生成した場合、操作部の画面に[キミツインサツブンショ サクジョシマシタ]が表示されます。

キミツインサツブンショ サクジョシマシタ

以下の手順で、どの機密印刷文書ジョブが中止されたかを確認します。

1. 機密印刷メッセージが表示された場合、［OK］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーで［!］マークから始まる名前の文書を選択します。

   ［!］マークは、ジョブがキャンセルされたことを示しています。

キミツインサツブンショ !HH:MM ユーザーコード

   ［HH:MM］は機密印刷文書が保存された時間になります。［ユーザーコード］はプリンタードライバーで入力したユーザー ID になります。

   ログ登録を削除するには、以下の手順に進んでください。

3. ［OK］キーを押します。
4. 削除したいログ登録が選択されていることを確認し、［OK］キーを押します。

5. [▼][▲]キーを押して[ジッコウ]を表示させ、[OK]キーを押します。

ログが削除されます。

機密印刷文書／ログがプリンターに残っている場合、機密印刷文書／ログのリスト画面に戻ります。もし何も残っていない場合は、初期画面に戻ります。

補足

- 以下のキーを使用して操作を中止します。
    - [キャンセル]：操作を中止し、前階層の画面に戻ります。
    - [メニュー]：操作を中止し、初期画面に戻ります。
- プリンターは、最新の10件分のキャンセルログを保存します。プリンターのログがすでに一杯で、機密印刷文書が中止された場合、一番古いログが自動的に削除されます。
- 操作部でパスワードを入力中の場合、プリンターは他の印刷ジョブを開始できません。
- 印刷した場合や、プリンターの電源を切った場合、機密印刷文書はプリンターのメモリーから自動的に消去されます。
- すべてのログ登録が削除された場合、[キミツインサツブンショ サクジョシマシタ]の表示が消えます。
- プリンターの電源が切れた場合、ログは削除されます。

部単位で印刷する（ソート）

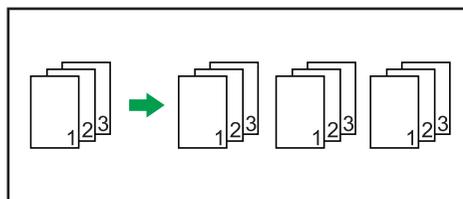
会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。この機能を「ソート」といいます。

ソート機能を使うときには、プリンタードライバーの印刷設定画面にある［基本］タブの［アプリケーションのソートを使わない］のチェックボックスにチェックを入れてください。

重要

- **［アプリケーションのソートを使わない］のチェックボックスが外された場合、アプリケーションのソート設定が適用となります。**

ソート

下の図のように一部ずつそろえて印刷します。

補足

- 一部目でエラースキップが発生した場合は、ソートは解除されます。
- 一部目で強制排紙が発生した場合は、ソートは解除されます。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

表紙を印刷する

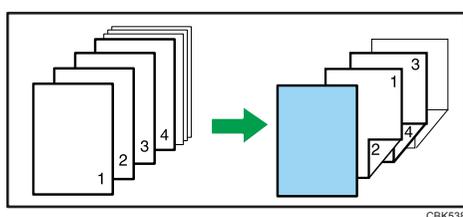
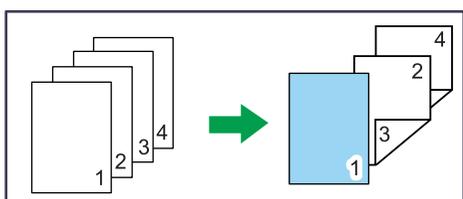
表紙用の用紙に印刷します。または、1 ページ目の前に表紙用の用紙を挿入します。

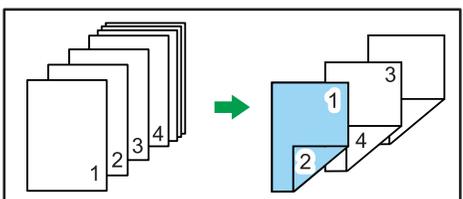
［用紙］タブの［用紙選択：］で［おもて表紙］を選択することにより、表紙の給紙トレイと印刷方法、他のページの給紙トレイと用紙種類を指定できます。

以下の項目から表紙の印刷方法を指定します。

- 印刷しない
- 片面だけ印刷
- 両面とも印刷（[基本]タブで両面印刷を指定した場合のみ選択できます。）

以下は表紙の印刷方法の例です。

- 表紙用の用紙に印刷しないとき

- 表紙用の用紙に片面印刷するとき

- 表紙用の用紙に両面印刷するとき

補足

- 表紙用の用紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

トナーを節約して印刷する

トナーセーブ機能を使用して、トナーを節約します。

重要

- **Mac OS X では、本機能は使用できません。**

［印刷品質］タブの［トナーセーブ：］で以下の項目を選択します。

- しない
- やや薄い
- 薄い
- ユーザー設定
    - 文字：
        - しない
        - やや薄い
        - 薄い
    - 図形／表／グラフ
        - しない
        - やや薄い
        - 薄い
    - 写真／イメージ
        - しない
        - やや薄い
        - 薄い

補足

- 設定方法については、プリンタドライバーのヘルプを参照してください。

CMYKの特定の色だけで印刷する

カラーのデータを印刷する場合、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックが通常使用されますが、印刷時に特定の色だけを使って印刷することができます。

重要

- **Mac OS Xでは、本機能は使用できません。**

［印刷品質］タブの［CMYKに色分解して、指定した色のみで印刷］で以下の項目を選択します。

3

- シアン
- マゼンタ
- イエロー
- ブラック

補足

- 本機能は、カラー印刷が指定されたときのみ使用できます。
- 設定方法については、プリンタドライバーのヘルプを参照してください。

原稿に文字をスタンプする

プリンタードライバーでスタンプ印刷する方法について説明します。スタンプを設定すると、作成した文書に文字を重ねて印刷ができます。

重要

- Mac OS X では、本機能は使用できません。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。

2. [スタンプ印字] タブをクリックします。

3. [スタンプ印字] のプルダウンメニューからスタンプの種類を選択します。

4. その他の印刷の設定を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

5. アプリケーションから印刷の指示を出します。

補足

- 印字のサイズが用紙サイズよりも大きい場合、正しくスタンプが印刷されません。
- 設定方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スタンプの種類

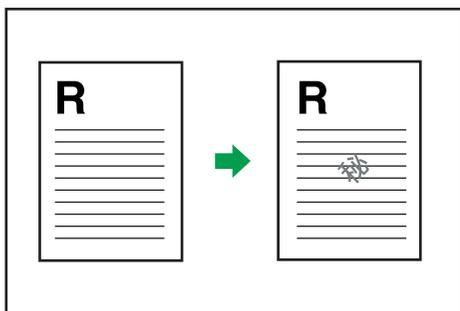
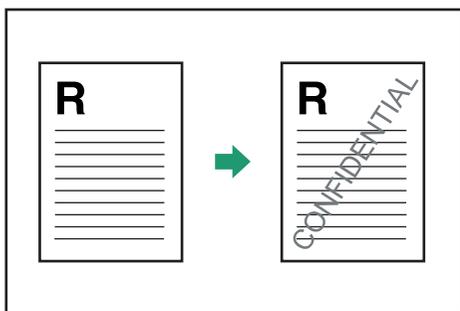
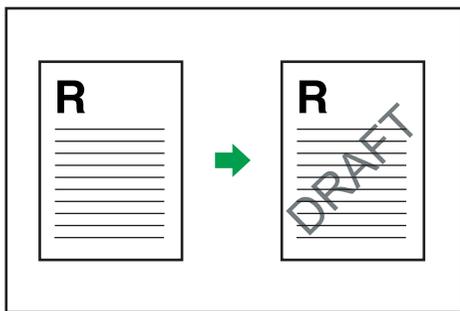
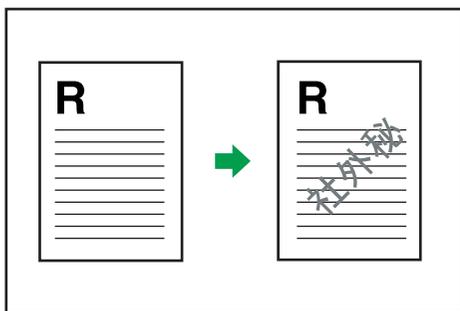
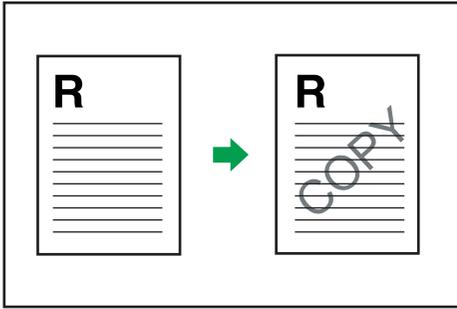
スタンプの種類について説明します。

プリンタードライバーにはいくつかの文字スタンプがあらかじめ登録されています。登録されているスタンプの種類は次のとおりです。

- 秘

- CONFIDENTIAL

- DRAFT

- 社外秘

- COPY

用紙エラーが発生したとき

用紙のサイズや種類が印刷データと合っていないときはエラーが発生します。このエラーを解除する方法を説明します。

重要

- **［システムセッテイ］メニューの［エラースキップ］が有効になっている場合、紙種および紙サイズの設定に関わらずセットされている用紙に印刷します。エラーが検知された場合は、印刷を一時中断し、約 10 秒後に操作部で指定した設定で印刷を再開します。**

3

参照

- ［エラースキップ］については、P.90「システム設定メニュー」を参照してください。

強制印刷する

以下の手順で強制印刷をします。

1. 操作部にエラーメッセージが表示されたら、［ストップ/スタート］キーを押します。

印刷が実行されます。

補足

- 用紙を追加して印刷したい場合は、トレイに使用する用紙をセットし、［ストップ/スタート］キーを押してください。
- 印刷データに対して用紙が小さすぎると、画像の端が切れたりする場合があります。

印刷を中止するとき

強制印刷をせずに、印刷を中止する方法です。

1. ［ジョブリセット］キーを押します。

印刷を中止する

印刷を中止したいデータが、まだ印刷されていない場合の操作方法です。

操作部を使って印刷を中止する

印刷が完了していないデータは、操作部から印刷を中止できます。

1. ［ジョブリセット］キーを押します。

パソコンから印刷を中止する

印刷が完了していないデータは、パソコンから印刷を中止できます。

ここでは、Windows XP での使用方法を例に説明します。

1. Windows のタスクトレイにあるプリンターのアイコンをダブルクリックします。

待機中の印刷ジョブ一覧画面が表示されます。印刷を中止するジョブを確認します。

2. 印刷を中止するジョブをクリックして反転表示させます。

3. ［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

- Windows Vista/7 および Windows Server 2008/2008 R2 では、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］をクリックします。
- Windows Vista/7 および Windows Server 2008/2008 R2 では、［プリンタと FAX］のプリンタアイコンを右クリックしてプリントジョブキューを開くことができます。
- 印刷の中止を選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。また、印刷の中止前に数ページ印刷されることがあります。
- プリントジョブのサイズが大きい場合は、中止までしばらくかかることがあります。
- 機密印刷ジョブを中止した場合、プリンターはジョブの数ページを機密印刷文書として保存している場合があります。この場合は、操作部で機密印刷文書を削除してください。

参照

- 機密印刷文書の削除について詳しくは、P.60「機密印刷文書を削除する」を参照してください。

4. デジタルカメラから直接印刷する（PictBridge）

デジタルカメラから直接印刷する機能についての説明です。

PictBridge とは？

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを USB ケーブルで接続し、デジタルカメラから操作を行うことで、撮影した画像を直接印刷することができます。

補足

- お使いのデジタルカメラが、PictBridge 対応であることを確認してください。
- 1 回の印刷で送信できる画像枚数は 999 枚までです。1000 枚以上の枚数を送信した場合 はカメラ側にエラーを返し、印刷は行われません。
- 印刷条件はデジタルカメラ側で設定するため、お使いのデジタルカメラによって設定で きる項目が異なります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- 本機能は、USB2.0 に対応しています。

印刷を行うには

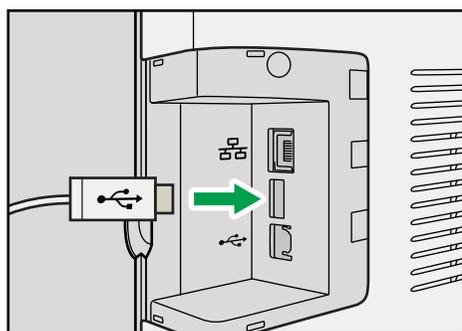
本機を使い PictBridge の印刷を行うまでの手順の説明を行います。

重要

- **高解像度の印刷の際、メモリーオーバーフローエラーが発生する場合があります。エラーが発生した場合は、データサイズを落として、再度出力を試みてください。**
- **お使いのデジタルカメラが、PictBridge 対応であることを確認してください。**
- **本機との接続には、デジタルカメラに付属の USB ケーブルを使用してください。**
- **データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されない場合があります。**

4

1. **本機の電源、お使いのデジタルカメラの電源が入っていることを確認します。**
2. **本機の後方左側の PictBridge 用 USB ポートに USB ケーブルを接続し、デジタルカメラと接続を行います。**

CER501

プリンターがデジタルカメラを PictBridge デバイスとして認識した場合、［PictBridge セツゾクチュウ］そして［インサツデキマス］がプリンター操作部の画面に表示されます。

3. **お使いのデジタルカメラより、印刷を行いたい画像の選択と印刷条件の設定を行ってください。**
4. **デジタルカメラで設定した内容を本機に送信し、印刷を行います。**

補足

- お使いのデジタルカメラによっては、PictBridge を使うために手動で設定する必要があります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- PictBridge の手動設定を行う場合、一部のデジタルカメラでは電源を落とす必要があります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- プリンターに接続する場合、一部のデジタルカメラでは電源を落とす必要があります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

- 印刷中止について詳しくは、P.71「印刷を中止する」を参照してください。

本機でできること

本機に対応している PictBridge の印刷機能を紹介します。

使用できる設定項目は以下のとおりです。

- 単一画像印刷
- 任意選択画像印刷
- インデックス印刷
- 全画像印刷
- 用紙サイズ
- 画像印刷サイズ
- 集約

補足

- お使いのデジタルカメラにより、印刷の機能名や設定できる項目が異なることがあります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

インデックス印刷

画像のインデックスを作成します。

- A4 (210×297 mm)

  タテ×ヨコ：8×13

- レター（215.9×279.4 mm）

  タテ×ヨコ：8×12

補足

- お使いのデジタルカメラによっては、改ページが入る場合があります。
- 各用紙サイズでのコマ数は固定です。

用紙サイズ

デジタルカメラより指定された用紙サイズを使って出力します。

用紙サイズ	サイズ
Letter （8 1/2" × 11"）	279.4 mm × 215.9 mm
A4	297 mm × 210 mm

画像印刷サイズ

デジタルカメラで指定された画像サイズになるように、用紙に出力します。

- 印刷で出力する用紙サイズに応じて、画像は自動的に拡大／縮小します。
- 画像サイズは、25%～400%の間で拡大／縮小します。

集約

指定された用紙に、2 コマまたは 4 コマの画像を印刷します。

補足

- お使いのデジタルカメラによっては、途中で改ページが入る場合があります。
- 印刷する画像枚数の組み合わせによっては、指定どおりに印刷できない場合があります。

PictBridge を終了するには

PictBridge モードを終了する手順を説明します。

重要

- **データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されない場合があります。**

1. **本機の操作部が「インサツ デキマス」の状態になっている事を確認します。**
2. **本機に接続されている USB ケーブルを抜きます。**

PictBridge 印刷がうまく行かない場合

PictBridge 印刷で起こりうる問題の原因と対処法について説明します。

状態	原因	対処法
PictBridge が使用できない	USB 接続または PictBridge の設定に問題があります。	以下の手順で接続と設定を確認してください。 1. USB ケーブルを外して、再度接続してください。 2. PictBridge 設定が有効になっているか確認してください。 3. USB ケーブルを外してプリンターの電源を切ります。そしてプリンターの電源を投入してください。 プリンターが完全に起動した後、USB ケーブルを再度接続してください。
複数のデジタルカメラを接続した場合に、2 つ目以降のカメラが認識されない	複数のデジタルカメラが接続されています。	デジタルカメラは 1 つだけ接続してください。複数のカメラを接続しないでください。
印刷できない	指定部数がプリンターの最大出力枚数を超えています。	一度に出力できる部数は 999 です。999 部以下を指定して、印刷を再度実行してください。
印刷できない	指定サイズの用紙がありません。	指定サイズの用紙がありません。 指定したサイズ以外の用紙サイズを使う必要がある場合は、強制印刷で印刷を実行してください。印刷を中止する場合は、ジョブをキャンセルしてください。 詳細は、P.70「用紙エラーが発生したとき」を参照してください。
印刷できない	設定された用紙サイズでは、印刷できません。	本機で印刷可能な用紙サイズを選択してください。

5. 操作部で設定する

操作部を使って本機の設定を変更したり調整したりする方法について説明します。

本機は初期設定でも使用できますが、ご使用の状況に合わせて設定を変更できます。本機の電源を切っても設定の変更は保存されます。

本機の設定メニュー

操作部から以下のメニューを選択できます。詳しい設定方法と、各メニューの設定項目については、それぞれの該当箇所を参照してください。

用紙設定メニュー

P.82「用紙設定メニュー」

テスト印刷メニュー

P.86「リスト／テスト印刷メニュー」

調整管理メニュー

P.88「調整管理メニュー」

システム設定メニュー

P.90「システム設定メニュー」

インターフェース設定メニュー

P.93「インターフェース設定メニュー」

言語メニュー

P.98「表示言語メニュー」

用紙設定メニュー

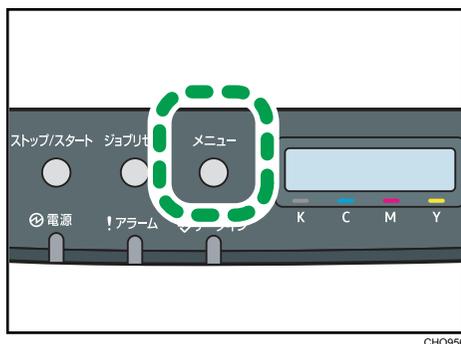
用紙設定メニューについて説明します。

このメニューには、以下の項目があります。

ヨウシサイズ
ヨウシシュルイ
ユウセン キュウシトレイ
テサシセッテイセンタク

用紙設定メニューを変更する

5

ここでは例として、優先給紙トレイの設定を変更する手順を説明します。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. ［▼］［▲］キーを押して［ヨウシセッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［ユウセン キュウシトレイ］を表示させ、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押して使用するトレイを選択します。

5. ［OK］キーを押します。

   選択した項目にアスタリスクが付与されて 2 秒間表示されます。そして優先給紙トレイ設定画面に戻ります。

6. ［メニュー］キーを押します。

   通常の画面に戻ります。

用紙設定メニューの項目

用紙設定メニューの項目について説明します。各トレイごとの用紙サイズや用紙の種類が設定できます。

ヨウシサイズ

各トレイの用紙サイズを設定します。

- トレイ 1

  初期設定：[A4]

  A4、B5、A5、8 1/2×14、8 1/2× 11、7 1/4×10 1/2、8×13、8 1/2×13、8 1/4×13、16K、フテイケイサイズ、B6、A6、5 1/2×8 1/2、ユウビンハガキ、オウフクハガキ、4 1/8×9 1/2、3 7/8×7 1/2、C5 Env、C6 Env、DL Env

- トレイ 2

  本メニューは、オプションの 500 枚増設トレイを装着した際にのみ表示されます。

  初期設定：[A4]

  A4、8 1/2× 11

- テサシトレイ

  初期設定：[A4]

  A4、B5、A5、8 1/2×14、8 1/2×11、7 1/4×10 1/2、8×13、8 1/2×13、8 1/4×13、16K、フテイケイサイズ、ユウビンハガキ、C5 Env、C6 Env、DL Env、B6、A6、5 1/2×8 1/2、オウフクハガキ、4 1/8×9 1/2、3 7/8×7 1/2

ヨウシシュルイ

各トレイの用紙種類を設定します。

- トレイ 1

  初期設定：[フツウシ]

  フツウシ、チュウアツクチ、アツガミ 1、サイセイシ、イロガミ、インサツズミシ、パンチズミシ、レターヘッド、アツガミ 2、ボンドシ、カードストック、ラベルシ、フウトウ、ウスガミ

- トレイ 2

  本メニューは、オプションの 500 枚増設トレイを装着した際にのみ表示されます。

  初期設定：[フツウシ]

  フツウシ、チュウアツクチ、アツガミ 1、サイセイシ、イロガミ、インサツズミシ、パンチズミシ、レターヘッド、ウスガミ

- テサシトレイ

  初期設定：[フツウシ]

フツウシ、チュウアツクチ、アツガミ 1、サイセイシ、イロガミ、パンチズミシ、レターヘッド、アツガミ 2、ボンドシ、カードストック、ラベルシ、フウトウ、ウスガミ

ユウセン キュウシトレイ

給紙トレイが選択されていないときに、トレイ 1 とトレイ 2 で優先的に給紙するトレイを選択します。

プリントジョブで自動トレイ選択が指定されている場合で、プリントジョブで指定した用紙に合致する用紙がトレイ 1 とトレイ 2 にセットされているとき、プリンターは指定したトレイで印刷を実行します。

指定したトレイに用紙がない場合、プリンターは、自動的にもう一方のトレイで印刷を実行します。［トレイ 2］は、オプションの 500 枚増設トレイを装着した際にのみ表示されます。

初期設定：[トレイ 1]

5

- トレイ 1
- トレイ 2

テサシセッテイセンタク

手差しトレイでのプリントジョブ処理方法を設定します。

初期設定：[キキガワ]

- キキガワ

  プリンターでの設定に基づき、すべてのプリントジョブを印刷します。 指定した用紙サイズまたは用紙種類の設定が、プリンターとプリンタードライバーで異なる場合、エラーが発生します。

- ゼンサイズシュルイ キョカ

  プリンタードライバーでの設定に基づき、すべてのプリントジョブを印刷します。 指定した用紙サイズまたは用紙種類の設定が、プリンターとプリンタードライバーで異なる場合でも、印刷を実行します。プリントジョブに対して用紙サイズが小さい場合、画像がトリミングされます。

- ゼンフテイケイシュルイキョカ

  不定形サイズの場合、プリンタードライバーでの設定に基づき、すべてのプリントジョブを印刷します。

  不定形サイズのプリントジョブの場合、指定した用紙サイズまたは用紙種類の設定が、プリンターとプリンタードライバーで異なるときでも、印刷を実行します。プリントジョブに対して用紙サイズが小さい場合、画像がトリミングされます。

  定形サイズのプリントジョブの場合、エラーが発生します。

参照

- 各トレイにセットする用紙サイズや用紙種類について詳しくは、『ハードウェアガイド』を参照してください。

リスト／テスト印刷メニュー

リスト／テスト印刷メニューについて説明します。

このメニューには、以下の項目があります。

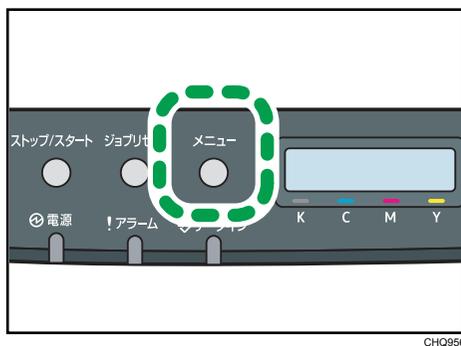
システムセッテイ リスト
メンテナンス リポート

システム設定リストを印刷する

以下の手順に従って、システム設定リストを印刷します。

重要

- **システム設定リストの印刷に使用できる用紙は、A4、レターサイズのみです。システム設定リストを印刷する前に、優先給紙トレイに用紙をセットしてください。**

5

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. ［▼］［▲］キーを押して［リスト/テスト インサツ］を表示させ、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［システムセッテイ リスト］を表示させ、［OK］キーを押します。

システム設定リストが印刷されます。

4. ［メニュー］キーを押します。

通常の画面に戻ります。

補足

- A4、レターサイズ以外の用紙で印刷を開始すると、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたら、適切なサイズの用紙をセットして印刷するか、印刷を中止してください。

参照

- システム設定リストについては、P.133「システム設定リストの見かた」を参照してください。

メニューリストメニューの設定項目

メニューリストメニューの項目について説明します。

システムセッテイ リスト

システム設定リストを印刷して現在の設定、全体情報を確認できます。

メンテナンス リポート

メンテナンスリポートを印刷します。

調整管理メニュー

調整管理メニューについて説明します。

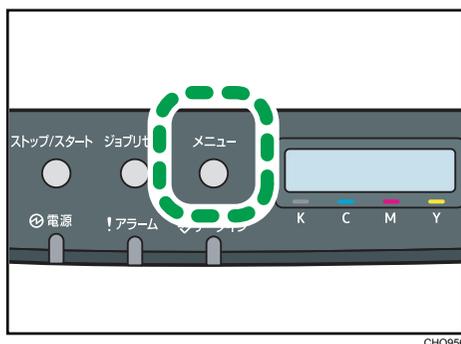
このメニューには、以下の項目があります。

カラーノウド/イロズレ
トナー モウスグコウカン
コウシツド タイオウレベル

トナー交換の通知時期を設定する

ここでは例として、トナー交換の通知時期を設定する手順について説明します。

5

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. ［▼］［▲］キーを押して［チョウセイ/カンリ］を表示させ、［OK］キーを押します。
3. ［▼］［▲］キーを押して［トナー モウスグコウカン］を表示させ、［OK］キーを押します。
4. ［▼］［▲］キーを押して［ハヤメニ ツウチ］、［ヒョウジュン］、［オソメニ ツウチ］から通知時期を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［メニュー］キーを押します。

通常の画面に戻ります。

調整管理メニューの設定項目

調整管理メニューの項目について説明します。

カラーノウド/イロズレ

色ずれの補正を実行できます。

トナー モウスグコウカン

トナーが残りわずかになったときの通知時期を設定します。

初期設定：[ヒョウジュン]

- ハヤメニ ツウチ

  トナーが 300P 分の残量となったとき、トナーニアエンドを通知します。

- ヒョウジュン

  トナーが 200P 分の残量となったとき、トナーニアエンドを通知します。

- オソメニ ツウチ

  トナーが 100P 分の残量となったとき、トナーニアエンドを通知します。

コウシツド タイオウレベル

湿度が高い環境でも一定の印刷品質を保って印刷します。

初期設定：[シナイ]

- シナイ
- レベル 1

  印刷がにじむときに選択します。

- レベル 2

  用紙がカールしたり、印刷がにじむときに選択します。このモードを選択すると、ファーストプリントの速度が約 30 秒遅くなります。

- レベル 3

  [レベル 2] を選択していても、用紙がカールしたり、印刷がにじんだりする場合 は、このモードを選択します。ファーストプリントは、[レベル 2] よりもさらに約 30 秒遅くなります。

システム設定メニュー

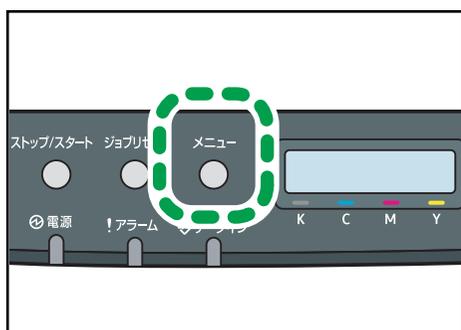
システム設定メニューでは、プリンターを使用する上で基本的な動作に関わる設定を行うことができます。通常は工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定の内容は電源を切っても保存されます。

このメニューには、以下の項目があります。

エラースキップ
ハクシ ハイシ
ヨネツモード
ショウエネ モード
セッテイヲ ショキカ
シロクロインサツ ユウセン

システム設定メニューを変更する

ここでは例として、省エネモードの時間を変更する手順について説明します。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. ［▼］［▲］キーを押して［システムセッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。
3. ［▼］［▲］キーを押して［ショウエネ モード］を表示させ、［OK］キーを 2 回押します。
4. ［▼］［▲］キーを押して［スル］を表示させ、［OK］キーを押します。
5. ［▼］［▲］キーを押して［イコウジカン セッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。

6. **[▼][▲]キーを押して省エネモードに移行する時間を選び、[OK]キーを押します。**

   選択した時間にアスタリスクが付与されて 2 秒間表示されます。そして省エネモード設定画面に戻ります。

7. **[メニュー]キーを押します。**

   通常の画面に戻ります。

システム設定メニューの設定項目

システム設定メニューの項目について説明します。

エラースキップ

用紙サイズや用紙種類のエラーを無視して印刷を続けます。エラーが検知されると印刷が一時的に停止し、約 10 秒後に操作部の設定で自動的に再開します。

[スル]に設定してエラーが発生したときでも、現在の印刷がキャンセルされ、自動的に次の印刷を開始する場合があります。

初期設定：[シナイ]

- スル
- シナイ

ハクシ ハイシ

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。表紙がプリンタードライバーで設定されているときは、[シナイ]を選択しても、表紙が挿入されます。

初期設定：[スル]

- シナイ
- スル

ヨネツモード

プリンターの待機状態が 30 秒続いた場合に予熱モードに移行するかしないかを選択します。電源 Off または省エネモードよりも早く復旧しますが、省エネモードよりも電力を消費します。

初期設定：[シナイ]

- スル(30 秒)
- シナイ

ショウエネ モード

待機状態のまま設定された時間が経過すると、省エネモードに移行します。省エネモードは、電力の消費量が低く抑えられますが、予熱モードよりも復旧に時間が掛かります。

- ショウエネ モード

省エネモードに移行するかしないかを選択します。省エネモードに移行すると、操作部の画面とランプは消灯しますが、電源の LED は点灯したままです。

初期設定：[スル]

- スル
- シナイ

- イコウジカンセッテイ

省エネモードに移行する時間を設定します。

初期設定：[10 フン]

1～240 分（1 分刻み）

セッテイヲ ショキカ

工場出荷時の設定に戻します。

シロクロインサツ ユウセン

白黒ページを印刷する際のカラートナーの消費を抑える設定ができます。

また、ウォームアップ中のカラートナーの消費も抑えます。

初期設定：[シナイ]

- シナイ
- スル

[スル] に設定している場合、カラーのジョブを送信するたびにカラー調整を行うため、印刷に時間がかかることがあります。

インターフェース設定メニュー

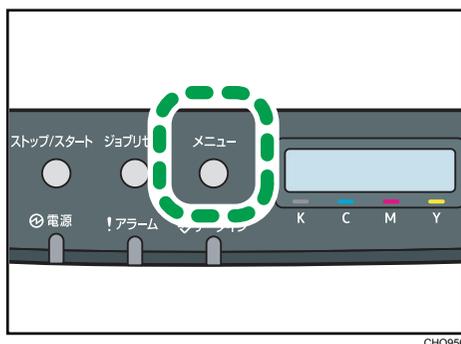
インターフェース設定メニューでは、ネットワーク接続に関する設定と、パソコンと本機を USB ケーブルで接続している場合の通信に関する設定をします。変更したインターフェース設定の内容は電源を切っても保持されます。

このメニューには、以下の項目があります。

タイムアウト： キミツインサツ
タイムアウト： USB
タイムアウト： ネットワーク
ネットワークセッテイ
USB ポートコテイ

インターフェース設定メニューを変更する

ここでは例として、ネットワーク設定を変更する手順を説明します。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェースセッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。
3. ［▼］［▲］キーを押して［ネットワークセッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。
4. ［▼］［▲］キーを押して［IPv4 セッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。
5. ［▼］［▲］キーを押して［DHCP］を表示させ、［OK］キーを押します。

6.［▼］［▲］キーを押して［ユウコウ］または［ムコウ］をネットワーク環境に応じて選び、［OK］キーを押します。

［ユウコウ］を選択した場合は、手順 10 に進みます。

7.［▼］［▲］キーを押して［IP アドレス］を表示させ、［OK］キーを押します。

8.［▼］［▲］キーを押してプリンターの IPv4 アドレスを設定し、［OK］キーを押します。

- 次のフィールドに進むには、［OK］キーを押します。
- 前のフィールドに戻るには、［キャンセル］キーを押します。

9. サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定してください。

IPv4 アドレスの設定手順と同じように、各設定を行ってください。

10.［メニュー］キーを押します。

通常の画面に戻ります。

インターフェース設定メニューの設定項目

インターフェース設定メニューの設定項目について説明します。

タイムアウト： キミツインサツ（IPSiO SP C241 のみに表示）

プリンターが機密印刷ファイルをこれ以上保存することができなくなった場合に、新しい機密印刷ファイルをプリンターで保持する時間（秒）を指定します。設定した時間の間、新しい機密印刷ファイルを印刷または削除することができます。現在保存している機密印刷ファイルを印刷または削除し、新しい機密印刷ファイルをプリンターに保存するようにもできます。

初期設定：［60］

0〜300 秒

タイムアウト： USB

USB 経由でプリントジョブを受信している途中で受信データが途切れたときに、続きのデータを待つ時間を設定します。

もし他ポートからのデータ受信により頻繁に中断する場合、タイムアウトの時間を増やしてください。

初期設定：［60 ビョウ］

- 15 ビョウ
- 60 ビョウ
- 300 ビョウ

タイムアウト： ネットワーク

ネットワークでプリンターを使用しているパソコンからプリントジョブを受信している途中で受信データが途切れたときに、続きのデータを待つ時間を設定します。

初期設定：[60 ビョウ]

- 15 ビョウ
- 60 ビョウ
- 300 ビョウ

ネットワークセッテイ

ネットワーク関連の設定をします。

- イーサネット ソクドセッテイ

  イーサネットの通信速度を設定します。

  初期設定：[ジドウセッテイ]

  - ジドウセッテイ
  - 10M ハンニジュウ
  - 10M ゼンニジュウ
  - 100M ハンニジュウ
  - 100M ゼンニジュウ

- IPsec

  IPsec を有効にするか無効にするかを設定します。

  初期設定：[ムコウ]

  - ユウコウ
  - ムコウ

- ブツリアドレス

  プリンターの MAC アドレスが表示されます。

- IPv4 セッテイ

  - DHCP

    DHCP サーバーから IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトのゲートウェイアドレスを自動で取得するかしないかを設定します。

    初期設定：[ムコウ]

    - ムコウ
    - ユウコウ

  - IP アドレス

    プリンターの IPv4 アドレスを設定します。

DHCP が［ユウコウ］のときは、IP アドレスを変更できません。変更するには、［ムコウ］に設定してください。

初期設定：[11.22.33.44]

- サブネットマスク

  サブネットマスクを設定します。

  DHCP が［ユウコウ］のときは、サブネットマスクを変更できません。変更するには、［ムコウ］に設定してください。

  初期設定：[255.255.255.0]

- ゲートウェイアドレス

  ゲートウェイアドレスを設定します。

  DHCP が［ユウコウ］のときは、ゲートウェイアドレスを変更できません。変更するには、［ムコウ］に設定してください。

  初期設定：[11.22.33.44]

- IP アドレス ホウシキ

  IP アドレス取得方式を表示します。

  - DHCP
  - オート IP
  - シュドウセッテイ
  - デフォルト IP

- IPv6 セッテイ
  - IPv6

    IPv6 を有効にするか無効にするかを設定します。

    初期設定：[ユウコウ]

    - ユウコウ
    - ムコウ

  - DHCP

    DHCP サーバーから IPv6 アドレスを自動で取得するかしないかを設定します。

    初期設定：[ムコウ]

    - ユウコウ
    - ムコウ

  - IP アドレス(DHCP)

    DHCP サーバーで取得した IPv6 アドレスを表示します。

  - シュドウセッテイアドレス

- シュドウセッテイアドレス

  任意で IPv6 アドレスを設定します。39 文字まで入力できます。

- プレフィックスチョウ

  プレフィックス長を 0〜128 の値で指定します。

- ゲートウェイアドレス

  デフォルトゲートウェイの IPv6 アドレスを設定します。39 文字まで入力できます。

- ステートレスアドレス

  ルーター通知で取得した IPv6 ステートレスアドレスを表示します。

  - アドレス 1
  - アドレス 2
  - アドレス 3
  - アドレス 4

- リンクローカルアドレス

  IPv6 リンクローカルを表示します。

USB ポートコテイ

USB 接続の際、複数のプリンターを同じプリンタードライバーで制御するかどうかを設定します。

初期設定：[シナイ]

- スル

  プリンターが同じ機種である場合、元々使用するためにインストールしたプリンタードライバーで、違うプリンターを制御することができます。

- シナイ

  USB 接続の場合、異なるプリンターは新しいデバイスとして認識されるため、プリンターごとに個別のプリンタードライバーをインストールする必要があります。

重要

- **設定を変更したあと、プリンターの電源を切って、入れなおしてください。**

補足

- ネットワークの設定については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

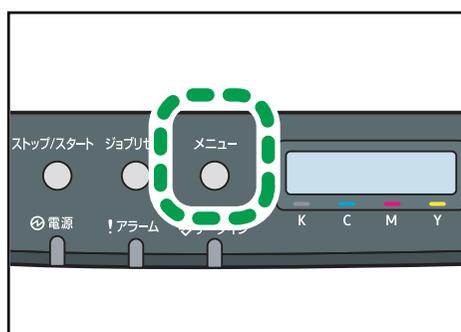
5

表示言語メニュー

言語メニューについて説明します。

このメニューには、以下の項目があります。

ニホンゴ
エイゴ
フランスゴ
ドイツゴ
イタリアゴ
スペインゴ
オランダゴ
スウェーデンゴ
ノルウェーゴ
デンマークゴ
フィンランドゴ
ポルトガルゴ

操作部の画面に表示する言語を変更する手順について説明します。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. ［▼］［▲］キーを押して［ヒョウジゲンゴ］を表示させ、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して言語を選び、［OK］キーを押します。

4. ［メニュー］キーを押します。

通常の画面に戻ります。

6. 機器の監視

Web Image Monitor を使用して、本機の状態確認や設定をする方法について説明します。

Web Image Monitor を使う

Web Image Monitor を使用して、プリンターの状態を確認したり、本機の設定を変更できます。

Web Image Monitor でできること

Web Image Monitor を使用すると、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上で、離れた場所にある機器の状態の確認や設定の変更ができます。

以下のようなことが可能です。

- プリンターの状態と設定の表示
- プリンターの設定
- ユーザー制限の設定（IPSiO SP C241 のみ表示）
- ネットワークの設定
- IPsec の設定
- リストの印刷
- 管理者パスワードの設定
- プリンター設定の初期化
- プリンター設定のバックアップファイル作成
- バックアップファイルからのプリンター設定の復元
- 省エネモードの設定

本機の環境設定

Web Image Monitor の機能は、TCP/IP プロトコルで使用できます。Web Image Monitor を使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。

TCP/IP の設定が正しく行われていると、使用できます。

推奨ブラウザー

- Windows 環境:

  Internet Explorer 6.0 以降

  FireFox 3.0 以降

- Mac OS X 環境:

  FireFox 3.0 以降

  Safari 3.0 以降

補足

- 使用するブラウザーのバージョンが推奨するバージョンより低い場合や、使用するブラウザーの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザーの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザーの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- Web Image Monitor で取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、メインエリアの［最新の情報に更新］をクリックしてください。
- Web Image Monitor は同じネットワークで使用することを推奨しています。
- DHCP でプリンターを使用する場合、IP アドレスは、DHCP サーバー設定により自動的に変更される場合があります。
- HTTP ポートが無効な場合、プリンターの URL を使用して、プリンターに接続できません。

トップページを表示する

Web Image Monitor のトップページの表示方法を説明します。

トップページの表示方法

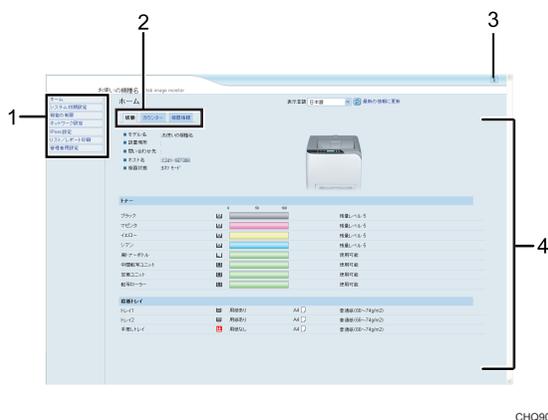
1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

DNS サーバーを使用し、本機のホスト名が登録されている場合、ホスト名を入力できます。

トップページ

Web Image Monitor のページはフレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

1. **メニューエリア**

   ［ホーム］、［システム初期設定］、［機能の制限］、［ネットワーク設定］、［IPSec 設定］、［リスト／リポート印刷］、［管理者用設定］を選択すると、各設定ページの内容が表示されます。

2. **タブエリア**

   ［状態］タブ、［カウンター］タブ、［機器情報］タブの 3 つのタブがあります。それぞれのタブをクリックすると、プリンターの状態とカウンター情報が表示されます。

3. **バージョン情報**

   ［i］をクリックすると、バージョン情報が表示されます。

4. **メインエリア**

   メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

   メインエリアの情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の［最新の情報に更新］をクリックしてください。なお、Web ブラウザー画面全体を更新したい場合は、ブラウザーの ［最新の情報に更新］をクリックしてください。

表示言語を変更する

使用したい表示言語を［表示言語］ボックスから選択してください。

システム情報を確認する

［ホーム］をクリックして、Web Image Monitor のメインページを表示します。メインページでは、現在のシステム情報を確認できます。

このページには、以下の 3 つのタブがあります：［状態］、［カウンター］、［機器情報］。

機器の状態を確認する

メインページの［状態］タブをクリックして、システム情報、給紙トレイの状況、およびトナーの残量を表示します。

項目	説明
モデル名	本機の名前を表示します。
設置場所	［SNMP］ページで登録した本機の設置場所を表示します。
問い合わせ先	［SNMP］ページで登録した本機の問い合わせ先を表示します。
ホスト名	現在のネットワークプロトコルのホスト名を表示します。
機器状態	操作部の画面に表示されている現在のメッセージを表示します。

トナー

項目	説明
ブラック	ブラックのトナー残量です。
マゼンタ	マゼンタのトナー残量です。
イエロー	イエローのトナー残量です。
シアン	シアンのトナー残量です。
廃トナーボトル	廃トナーボトルの廃トナーの量を［空きあり］、［もうすぐ満杯］、［満杯］、［未装着］で表示します。

項目	説明
中間転写ユニット *1	中間転写ユニットの寿命を［空きあり］、［交換間近］、［交換時期］で表示します。 交換する場合は、サービス実施店にご連絡ください。
定着ユニット *1	定着ユニットの寿命を［空きあり］、［交換間近］、［交換時期］で表示します。 交換する場合は、サービス実施店にご連絡ください。
転写ローラー *1	転写ローラーの寿命を［空きあり］、［交換間近］、［交換時期］で表示します。 交換する場合は、サービス実施店にご連絡ください。

*1 ［中間転写ユニット］、［定着ユニット］、［転写ローラー］項目は、IPSiO SP C241 をお使いの場合にのみ表示されます。

給紙トレイ

項目	説明
トレイ 1	トレイ 1 の状態、用紙サイズと種類を表示します。
トレイ 2	トレイ 2 の状態、用紙サイズと種類を表示します。
手差しトレイ	手差しトレイの状態、用紙サイズと種類を表示します。

6

補足

- 500 枚増設トレイが装着されている場合のみ、トレイ 2 の情報が表示されます。
- リコー純正品以外のトナーカートリッジを使うと、正確なトナーの寿命が表示されません。

参照

- 設置場所、問い合わせ先について詳しくは、P.116「SNMP の設定をする」を参照してください。
- プリンターのホスト名について詳しくは、P.114「DNS の設定をする」を参照してください。

カウンター情報を確認する

メインページの［カウンター］タブをクリックして、カウンター情報を確認します。

機器カウンター

項目	説明
機器カウンター	印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 • トータルページ数 • カラーのページ数 • 白黒のページ数
ブラック	印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 • ブラックトナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • ブラックトナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
シアン	印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 • シアントナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • シアントナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
マゼンタ	印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 • マゼンタトナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • マゼンタトナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
イエロー	印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 • イエロートナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • イエロートナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）

トナーセーブ印刷

項目	説明
トナーセーブ印刷（カラー）	トナーセーブモードを使って印刷したページの総数を表示します。

6

項目	説明
ブラック	トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 • ブラックトナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • ブラックトナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
シアン	トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 • シアントナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • シアントナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
マゼンタ	トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 • マゼンタトナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • マゼンタトナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
イエロー	トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 • イエロートナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） • イエロートナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）

両面

項目	説明
両面カウンター	両面印刷されたページの総数を表示します（表面と裏面を合わせて「1」とカウントされます）。

補足

- ［機器カウンター］、［トナーセーブ印刷］では、両面印刷は「2」とカウントされます。

機器情報を確認する

メインページの［機器情報］タブをクリックして、機器の情報を確認します。

システム構成情報

項目	説明
ファームウェアバージョン	本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
エンジンファームウェアバージョン	本機エンジンのファームウェアのバージョンを表示します。
機番	本機のシリアルナンバーです。
搭載メモリー	本機に搭載されているメモリーの総容量を表示します。

6

機器設定を変更する

[システム初期設定] をクリックして、システム初期設定のページを表示します。

このページには、以下の 3 つのタブがあります：[用紙設定]、[インターフェース切り替え時間]、[白黒印刷優先]。

用紙の設定を変更する

機器設定ページの [用紙設定] タブをクリックして、用紙設定をするページを表示します。

トレイ 1

項目	説明
用紙サイズ	トレイ 1 の用紙サイズを、次の中から選びます： A4、B5 JIS、A5、B6 JIS、A6、8 $^{1}/_{2}$×14、8 $^{1}/_{2}$×11、5 $^{1}/_{2}$×8 $^{1}/_{2}$、7 $^{1}/_{4}$×10 $^{1}/_{2}$、8×13、8 $^{1}/_{2}$×13、8 $^{1}/_{4}$×13、16K、郵便ハガキ、往復ハガキ、4 $^{1}/_{8}$×9 $^{1}/_{2}$、3 $^{7}/_{8}$ ×7 $^{1}/_{2}$、C5 Env、C6 Env、DL Env、不定形サイズ
用紙種類	トレイ 1 の用紙の種類を、次の中から選びます： 薄紙（60〜65g/m2）、普通紙（66〜74g/m2）、中厚口（75〜90g/m2）、厚紙 1（91〜105g/m2）、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙、ラベル紙、ボンド紙、カードストック、封筒、厚紙 2（106〜160g/m2）

トレイ 2

項目	説明
用紙サイズ	トレイ 2 の用紙サイズを、次の中から選びます： A4、8 $^{1}/_{2}$×11
用紙種類	トレイ 2 の用紙の種類を、次の中から選びます： 薄紙（60〜65g/m2）、普通紙（66〜74g/m2）、中厚口（75〜90g/m2）、厚紙 1（91〜105g/m2）、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙

手差しトレイ

項目	説明
用紙サイズ	手差しトレイの用紙サイズを、次の中から選びます： A4、B5 JIS、A5、B6 JIS、A6、8 $^{1}/_{2}$×14、8 $^{1}/_{2}$×11、5 1/2×8 $^{1}/_{2}$、7 $^{1}/_{4}$×10 $^{1}/_{2}$、8×13、8 $^{1}/_{2}$×13、8 $^{1}/_{4}$×13、16K、郵便ハガキ、往復ハガキ、4 $^{1}/_{8}$×9 $^{1}/_{2}$、3 $^{7}/_{8}$×7 $^{1}/_{2}$、C5 Env、C6 Env、DL Env、不定形サイズ
用紙種類	手差しトレイの用紙の種類を、次の中から選びます： 薄紙（60～65g/m2）、普通紙（66～74g/m2）、中厚口（75～90g/m2）、厚紙 1（91～105g/m2）、再生紙、色紙、レターヘッド、パンチ済み紙、ラベル紙、ボンド紙、カードストック、封筒、厚紙 2（106～160g/m2）

優先トレイ

項目	説明
優先トレイ	給紙トレイが選択されていないときに、トレイ 1 とトレイ 2 で優先的に給紙するトレイを選択します。 プリントジョブで自動トレイ選択が指定されている場合で、プリントジョブで指定した用紙に合致する用紙がトレイ 1 とトレイ 2 にセットされているとき、プリンターは指定したトレイで印刷を実行します。 指定したトレイに用紙がない場合、プリンターは、自動的にもう一方のトレイで印刷を実行します。

手差しトレイ設定選択

項目	説明
手差しトレイ設定選択	手差しトレイでのプリントジョブ処理方法を設定します。 • ［システム初期設定］ プリンターでの設定に基づき、すべてのプリントジョブを印刷します。 指定した用紙サイズまたは用紙種類の設定が、プリンターとプリンタードライバーで異なる場合、エラーが発生します。 • ［全用紙サイズ・用紙種類許可］ プリンタードライバーでの設定に基づき、すべてのプリントジョブを印刷します。 指定した用紙サイズまたは用紙種類の設定が、プリンターとプリンタードライバーで異なる場合でも、印刷を実行します。プリントジョブに対して用紙サイズが小さい場合、画像がトリミングされます。 • ［全不定形サイズ・用紙種類許可］ 不定形サイズの場合、プリンタードライバーでの設定に基づき、すべてのプリントジョブを印刷します。 不定形サイズのプリントジョブの場合、指定した用紙サイズまたは用紙種類の設定が、プリンターとプリンタードライバーで異なるときでも、印刷を実行します。プリントジョブに対して用紙サイズが小さい場合、画像がトリミングされます。 定形サイズのプリントジョブの場合、エラーが発生します。

補足

- 500 枚増設トレイが装着されている場合のみ、トレイ 2 の情報が表示されます。

インターフェース切り替え時間を設定する

システム初期設定ページの［インターフェース切り替え時間］タブをクリックし、インターフェース切り替え時間を設定します。

インターフェース切り替え時間

項目	説明
USB ポート固定	複数のプリンターを同じプリンタードライバーで制御するかどうかを設定します。 本設定を有効にした場合、プリンターが同じ機種のとき、元々使用するためにインストールしたプリンタードライバーで違うプリンターを制御することができます。 本設定を無効にした場合、USB 接続のとき、異なるプリンターは新しいデバイスとして認識されるため、プリンター個別のプリンタードライバーをインストールする必要があります。
機密印刷タイムアウト（秒）	プリンターが機密印刷ファイルをこれ以上保存することができなくなった場合に、新しい機密印刷ファイルをプリンターで保持する時間（0〜300 秒）を指定します。設定した時間の間、新しい機密印刷ファイルを印刷または削除することができます。現在保存している機密印刷ファイルを印刷または削除し、新しい機密印刷ファイルをプリンターに保存するようにもできます。

白黒印刷優先設定

システム初期設定ページの ［白黒印刷優先］タブをクリックし、白黒印刷優先を設定します。

白黒印刷優先

項目	説明
白黒印刷優先	白黒ページを印刷する際のカラートナーの消費を抑える設定ができます。 また、ウォームアップ中のカラートナーの消費も抑えます。 ［有効］に設定している場合、カラーのジョブを送信するたびにカラー調整を行うため、印刷に時間が掛かることがあります。

ユーザーごとに印刷機能を制限する

ユーザーが印刷機能を使用しようとする場合に、ユーザーコードを要求するように設定することができます。

重要

- **お使いの機種が IPSiO SP C241 の場合に、本機能を使用できます。**

Web Image Monitor を使用して、以下に挙げている機能のすべて、あるいは一部について、ユーザー制限をかけます。登録ユーザーは以下の機能を使用することができます。

- PictBridge 印刷
- 印刷（カラーとモノクロ両方を許可）
- カラー印刷（モノクロ印刷は許可）

各ユーザーに対して、どの機能に認証をかけるかを設定することができます。最大で 30 ユーザーを登録できます。

参照

- ユーザー制限設定について詳しくは、P.47「ユーザーごとに印刷機能を制限する」を参照してください。

ネットワークの設定をする

［ネットワーク設定］をクリックして、ネットワーク設定ページを表示します。

このページには、以下の 8 つのタブがあります：［ネットワーク情報］、［IPv6 設定］、［ネットワーク設定］、［DNS］、［自動メール通知］、［SNMP］、［SMTP］、［POP3］。

ネットワーク設定をする

ネットワーク設定ページの［ネットワーク情報］タブをクリックして、ネットワーク設定をするページを表示します。

ネットワーク情報

項目	説明
イーサネット速度	ネットワーク接続の種類および速度を表示します。
IPP プリンター名	ネットワーク上で本機を識別するために使用する名前を表示します。
ネットワークバージョン	ネットワークモジュールのバージョン（本機ファームウェアの一部）を表示します。
物理アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。

TCP/IP 情報

項目	説明
DHCP	DHCP を使って、本機が IPv4 アドレスを自動的に取得するかどうか選択します。DHCP を使用するには、［有効］を選んでください。有効にした場合、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］は無効になります。
IP アドレス	本機の IPv4 アドレスを入力します。
サブネットマスク	ネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	ネットワークのゲートウェイアドレスを入力します。

IPv6 を設定する

ネットワーク設定ページの［IPv6 設定］タブをクリックし、IPv6 の設定を行います。

IPv6

項目	説明
IPv6	IPv6 を有効にするか無効にするかを設定します。プリンターが IPv6 環境で使用されている場合、Web Image Monitor で IPv6 を無効にすることはできません。その場合、操作部の［ネットワークセッテイ］の［IPv6］を無効にしてください。

IPv6 アドレス

項目	説明
DHCP	DHCP サーバーから IPv6 アドレスを自動で取得するかしないかを設定します。
IP アドレス (DHCP)	［DHCP］を［有効］に設定した場合の DHCP サーバーで取得した IPv6 アドレスを表示します。
ステートレスアドレス	4 つのステートレス自動アドレスを表示します。
ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
リンクローカルアドレス	プリンターのリンクローカルアドレスを表示します。リンクローカルアドレスはローカルネットワーク環境でのみ有効なアドレスです。
手動設定アドレス	任意で IPv6 アドレスを設定します。39 文字まで入力できます。
プレフィックス長	プレフィックス長を 0〜128 の値で入力します。
ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイの IPv6 アドレスを設定します。39 文字まで入力できます。

参照

- [IPv6]について詳細は、P.93「インターフェース設定メニュー」を参照してください。

印刷プロトコルを設定する

ネットワーク設定ページの［ネットワーク設定］タブをクリックして、印刷プロトコルの設定をするページを表示します。

ネットワーク印刷設定

項目	説明
IPP	インターネット印刷プロトコルを使った TCP/IP ネットワーク印刷を有効にします（TCP ポート 631/80 を使用します）。
FTP	本機内蔵の FTP プロトコルを使ったネットワーク印刷を有効にします（TCP ポート 20/21 を使用します）。
RAW	raw 印刷を有効にします。
ポート番号	raw 印刷に使用する TCP ポートの番号を入力します。有効なポート番号は 1024～65535 で、53550 は除きます（デフォルト：9100）。
LPR	LPR/LPD を使ったネットワーク印刷を有効にします（TCP ポート 515 を使用します）。

mDNS 設定

項目	説明
mDNS	マルチキャスト DNS を有効にします。無効にした場合、［プリンター名］の項目は設定できません。
プリンター名	本機の名前を入力します。最大 32 文字まで入力できます。

DNS の設定をする

ネットワーク設定ページの［DNS］タブをクリックして、DNS 設定をするページを表示します。

DNS

項目	説明
DNS 方式	手動でドメインサーバーを指定するか、ネットワークを通して自動的に DNS 情報を受け取るかを選択します。[自動的に取得(DHCP)] にした場合、[プライマリー DNS サーバー]、[セカンダリー DNS サーバー]、[ドメイン名] は無効になります。
プライマリー DNS サーバー	プライマリー DNS の IPv4 アドレスを入力します。
セカンダリー DNS サーバー	セカンダリー DNS の IPv4 アドレスを入力します。
ドメイン名	本機のドメイン名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
IPv6DNS 方式	ドメインサーバーを任意で指定するか、DNS 情報を自動的に取得するかどうかを設定します。 [自動的に取得（DHCP)] が設定された場合、[IPv6 プライマリー DNS サーバー]、[IPv6 セカンダリー DNS サーバー]、[IPv6 ドメイン名] は選択不可となります。
IPv6 プライマリー DNS サーバー	IPv6 プライマリー DNS サーバーの IPv6 アドレスを入力します。39 文字まで入力できます。
IPv6 セカンダリー DNS サーバー	IPv6 セカンダリー DNS サーバーの IPv6 アドレスを入力します。39 文字まで入力できます。
IPv6 ドメイン名	プリンターの IPv6 ドメイン名を入力します。32 文字まで入力できます。
DNS 名前解決優先	IPv4 または IPv6 のどちらに DNS 名前解決の優先を与えるかを設定します。
DNS タイムアウト（秒）	DNS 要求をタイムアウトにするまでの最大待ち時間を入力します（1〜999)。
ホスト名	本機のホスト名を入力します。最大 15 文字まで入力できます。

補足

- 各設定について詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

自動メール通知の設定をする

ネットワーク設定ページの［自動メール通知］タブをクリックして、自動メール通知を設定するページを表示します。

メール通知 1/メール通知 2

項目	説明
表示名	自動通知メールの送信者名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
メールアドレス	自動通知メールのあて先となるアドレスを入力します。最大 64 文字まで入力できます。
用紙づまり	紙づまりが発生したときに、指定アドレスに自動通知メールを送信します。
用紙なし	用紙が切れたときに、指定アドレスに自動通知メールを送信します。
トナー残りわずか	トナーが少なくなったときに、指定アドレスに自動通知メールを送信します。
サービスコール	本機故障などの問題が発生したときに、指定アドレスに自動通知メールを送信します。
トナーなし	トナーが切れたときに、指定アドレスに自動通知メールを送信します。
カバーオープン	カバーが開いているときに、指定アドレスに自動通知メールを送信します。

SNMP の設定をする

ネットワーク設定ページの［SNMP］タブをクリックして、SNMP 設定をするページを表示します。

SNMP

項目	説明
SNMP	本機が SNMP サービスを使えるようにするかどうか選択します。

Trap

項目	説明
Trap 送信	本機が管理ホスト(NMS)にトラップを送信できるようにするかどうか選択します。 本設定が［無効］に設定された場合、［SNMP マネージャーアドレス 1］と［SNMP マネージャーアドレス 2］は選択不可となります。
SNMP マネージャーアドレス 1	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 64 文字まで入力できます。
SNMP マネージャーアドレス 2	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 64 文字まで入力できます。

コミュニティー

項目	説明
Get コミュニティー	Get 要求の認証に使用するコミュニティ名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
Trap コミュニティー	Trap 要求の認証に使用するコミュニティ名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。

システム

項目	説明
設置場所	本機の場所を入力します。ここで入力した場所は、メインページに表示されます。最大 64 文字まで入力できます。
問い合わせ先	連絡先の情報を入力します。ここで入力した連絡先の情報は、メインページに表示されます。最大 64 文字まで入力できます。

SMTP の設定をする

ネットワーク設定ページの［SMTP］タブをクリックして、SMTP 設定をするページを表示します。

SMTP

項目	説明
プライマリー SMTP サーバー	IP アドレスか、SMTP サーバーの名前を入力します。最大 64 文字まで入力できます。
ポート番号	SMTP のポート番号を入力します。（1～65535）
認証種類	認証方式を以下から選択してください。 ［しない］：ユーザー名およびパスワードは必要ありません。 ［SMTP］：本機は NTLM および LOGIN 認証に対応しています。 ［POP before SMTP］：認証には POP3 サーバーを使用します。メールを SMTP サーバーに送信する場合、POP サーバーにアクセスして認証を行うことにより、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを高めることができます。
認証ユーザー名	SMTP サーバーにログインするユーザー名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
認証パスワード	SMTP サーバーにログインするパスワードを入力します。最大 32 文字まで入力できます。
機器メールアドレス	システム管理者のメールアドレスを入力します。このアドレスは、自動通知メール通知などの本機から送信されるメールの送信者アドレスとして使用されます。最大 64 文字まで入力できます。
サーバータイムアウト（秒）	SMTP 操作をタイムアウトにするまでの待ち時間を入力します（1～999）。

POP3 の設定をする

ネットワーク設定ページの［POP3］タブをクリックし、POP3 の設定を行います。

POP3 設定

項目	説明
POP3 サーバー	認証用 POP3 サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。ここで指定した POP3 サーバーは［POP before SMTP］で使用されます。64 文字まで入力できます。
ユーザーアカウント	POP3 サーバーにログインする際のユーザー名を入力します。32 文字まで入力できます。
ユーザーパスワード	POP3 サーバーにログインする際のパスワードを入力します。32 文字まで入力できます。
認証	認証方法を以下から選択します。 ［なし］：パスワードは暗号化されません。 ［APOP 認証］：パスワードは暗号化されます。 ［自動］：POP3 サーバーの設定により、パスワードは暗号化される場合とされない場合があります。

IPsec の設定をする

［IPsec 設定］をクリックし、IPsec 設定を行うページを表示します。 本ページは、［IPsec グローバル設定］と［IPsec ポリシーリスト］の２つのタブがあります。

重要

- **本機能は管理者のパスワードが指定されたときのみ使用できます。**

IPsec グローバル設定

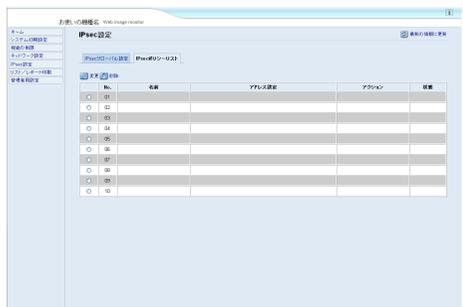
IPsec 設定ページの［IPsec グローバル設定］タブをクリックし、IPsec グローバル設定を行います。

項目	説明
IPsec 機能	IPsec を有効にするか無効にするかを設定します。
IPsec デフォルトポリシー	IPsec デフォルトポリシーを許可するかどうかを設定します。
ブロードキャストとマルチキャストに適用しない	IPsec を適用したくないサービスを以下から選択します：［DHCPv4］、［DHCPv6］、［SNMP］、［mDNS］、［NetBIOS］、［UDP53550 番ポート］
全ての ICMP に適用しない	IPsec を ICMP パケット（IPv4 と IPv6）に適用するかどうかを以下から選択します： •［有効］：すべての ICMP パケットに IPsec で保護されません。 ping コマンド（エコー要求およびエコー応答）は IPsec で保護されません。 •［無効］：一部の ICMP メッセージは IPsec で保護されません。

補足

- ［全ての ICMP に適用しない］が［無効］に設定された場合にどの ICMP メッセージが保護されないかについては、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

IPsec ポリシーを設定する

IPsec 設定ページの［IPsec ポリシーリスト］タブをクリックして、IPsec ポリシーの登録リストを表示させます。

項目	説明
No.	IPsec ポリシー番号
名前	IPsec ポリシー名を表示します。
アドレス設定	IPsec ポリシーの IP アドレスフィルターを表示します： リモートアドレス／プレフィックス長
アクション	IPsec ポリシーのアクションを表示します： ［許可］、［拒否］、［セキュリティー］
状態	IPsec ポリシーの状態を表示します：［有効］、［無効］

IPsec ポリシーを設定する場合、任意の IPsec ポリシーを選択し、［変更］をクリックして［IPsec ポリシー設定］ページを開きます。以下の設定は［IPsec ポリシー設定］ページで行います。

IP ポリシー設定

項目	説明
No.	IPsec ポリシー用に 1～10 の番号を指定します。指定した番号で IPsec ポリシーリストのポリシー位置が決定します。リストの順番により、ポリシーが検索されます。指定した番号が他のポリシーにより既に指定されていた場合、現在設定しようとしているポリシーがその番号を取得し、以前その番号を割り当てられていたポリシーおよびその他のポリシーは、それに従い再度採番されます。
適用の状態	ポリシーを有効にするか無効にするかどうかを設定します。
名前	ポリシー名を入力します。16 文字まで入力できます。
アドレスタイプ	IPsec 通信で使用する IP アドレスとして、IPv4 または IPv6 を選択します。
ローカルアドレス	本機の IP アドレスを表示します。
リモートアドレス	通信するデバイスの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。39 文字まで入力できます。
プレフィックス長	リモートアドレスのプレフィックス長を 1～128 の値で入力します。本設定が未入力の場合、32（IPv4）または 128（IPv6）が自動的に選択されます。
アクション	IP パケットの処理方法を以下から指定します。 • ［許可］：IP パケットに適用した IPsec なしで IP パケットを送受信します。 • ［拒否］：IP パケットを処分します。 • ［セキュリティー］：IPsec は送受信する IP パケットに適用されます。［セキュリティー］を選択した場合、［IPsec 設定］および［IKE 設定］を設定する必要があります。

IPsec 設定

項目	説明
カプセル化タイプ	カプセル化タイプを以下から指定します。 • ［トランスポート］：IPsec 対応デバイスと通信する場合、各 IP パケットのペイロードのみを保護します。 • ［トンネル］：各 IP パケットのすべてを保護します。本タイプは、VPN デバイスのようなセキュリティーゲートウェイ間での通信の場合に推奨します。

項目	説明
セキュリティープロトコル	セキュリティープロトコルを以下から指定します。 • [AH]：認証のみをサポートする安全な通信を確立します。 • [ESP]：認証およびデータ暗号化をサポートする安全な通信を確立します。 • [ESP&AH]：データ暗号化およびパケットヘッダーを含むパケット認証をサポートする安全な通信を確立します。［カプセル化タイプ］で［トンネル］が選択されている場合、本プロトコルを指定することができません。
AH 認証アルゴリズム	［セキュリティープロトコル］で［AH］または［ESP&AH］が選択された場合に適用される認証アルゴリズムを［MD5］、［SHA1］から指定します。
ESP 暗号化アルゴリズム	［セキュリティープロトコル］で［ESP］または［ESP&AH］が選択された場合に適用される暗号化アルゴリズムを以下から指定します。 ［なし］、［DES］、［3DES］、［AES-128］、［AES-192］、［AES-256］
ESP 認証アルゴリズム	［セキュリティープロトコル］で［ESP］が選択された場合に適用される認証アルゴリズムを［MD5］、［SHA1］から指定します。
有効期間	IPsec SA の有効期間を時間またはデータ容量として指定します。 指定した時間を過ぎた場合や、指定したデータ容量に到達した場合に、SA は無効となります。 時間とデータ容量を指定する場合、どちらかに到達した時点で SA は無効となります。そして、ネゴシエーションにより、SA が新たに取得されます。 SA の有効期間を時間で指定するには、300～172800 の間で任意の時間（秒）を入力します。 SA の有効期間をデータ容量で指定するには、20480～2147483647 の間で任意の容量（キロバイト）を入力します。
PFS	PFS を有効にするか無効にするかどうかを設定します。

IKE 設定

項目	説明
IKE バージョン	IKE バージョンを表示します。
暗号化アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを以下から指定します。 ［DES］、［3DES］、［AES-128］、［AES-192］、［AES-256］
認証アルゴリズム	認証アルゴリズムを［MD5］、［SHA1］から指定します。
IKE 有効期間	ISAKMP SA の有効期間を時間で指定します。300～172800 の間で任意の時間（秒）を入力します。

項目	説明
IKE Diffie-Hellman グループ	IKE 暗号鍵の生成で使用される IKE Diffie-Hellman グループを［DH1］、［DH2］から指定します。
PSK	通信デバイス認証に使用される PSK を指定します。32 文字まで入力できます。
PFS	PFS を有効にするか無効にするかどうかを設定します。

参照

- IPsec について詳しくは、P.156「IPsec を使って通信する」を参照してください。

6

レポートを印刷する

［リスト／レポート印刷］をクリックして、レポート印刷ページを表示します。項目を選択し、［印刷する］をクリックしてその項目に関する情報を印刷します。

リスト／レポート印刷

項目	説明
システム設定リスト	本機のシステム構成や設定の内容を印刷します。
メンテナンスリポート	メンテナンスページを印刷します。

補足

- 本機が印刷中の場合は、レポート印刷の操作を行ってもレポートは印刷されません。本機の印刷が終わってから、印刷してください。
- リストは、A4 またはレターサイズの用紙に印刷されます。リスト印刷を行う前に、A4 またはレターサイズの用紙を優先トレイにセットしてください。

参照

- 優先トレイ設定について詳しくは、P.107「用紙の設定を変更する」を参照してください。
- 用紙のセットについて詳しくは、『ハードウェアガイド』の「用紙のセット」を参照してください。

管理者設定をする

［管理者用設定］をクリックして、管理者設定ページを表示します。

このページには、以下の 5 つのタブがあります：［管理者］、［設定を初期化］、［バックアップ設定］、［リストア設定］、［省エネモード設定］。

管理者パスワード設定

管理者設定ページの［管理者］タブをクリックして、パスワード設定をするページを表示します。

管理者設定

項目	説明
新規パスワード	新しい管理者パスワードを入力します。最大 16 文字まで入力できます。
新規パスワード（確認）	確認のため同じパスワードを入力してください。

本機の設定を初期化する

管理者設定ページの［設定を初期化］タブをクリックして、本機の設定を初期化するページを表示します。

設定を初期化

項目	説明
ネットワーク設定を初期化	ネットワーク設定が初期値に戻ります。
メニュー設定を初期化	ネットワーク設定以外の本機の設定が初期値に戻ります。
使用できる機能の設定を初期化	ユーザー制限設定をクリアします。
IPsec 設定を初期化	IP セキュリティー設定が初期値に戻ります。

補足

- ［IPsec 設定を初期化］は、［管理者］でパスワードが指定されたときのみ表示されます。

本機の設定をバックアップする

管理者設定ページの［バックアップ設定］タブをクリックして、本機の設定のバックアップファイルを作成するページを表示します。必要であれば、このバックアップファイルを使って前回の設定を復元できます。

重要

- **本機を修理に出す場合には、必ず事前にバックアップファイルを作成してください。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。**

バックアップ設定

項目	説明
ネットワーク設定のバックアップをとる	ネットワーク設定のバックアップファイルを作成します。
メニュー設定のバックアップをとる	ネットワーク設定以外の設定のバックアップファイルを作成します。
使用できる機能の設定のバックアップをとる	ユーザー制限設定のバックアップファイルを作成します。
IPsec 設定のバックアップをとる	IP セキュリティー設定のバックアップファイルを作成します。

以下の手順でバックアップファイルを作成します。

1. **バックアップしたい項目を選択します。**
2. **必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。**
3. **[OK]をクリックします。**
4. **[保存]をクリックします。**
5. **バックアップファイルを保存する場所を指定します。**
6. **ファイル名を指定して、[保存]をクリックします。**

補足

- [IPsec 設定のバックアップをとる]は、[管理者]でパスワードが指定されたときのみ表示されます。

本機の設定を復元する

管理者設定ページの[リストア設定]タブをクリックして、バックアップファイルから本機の設定を復元するページを表示します。

重要

- **本機が修理から戻ったら、バックアップファイルから設定を復元します。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。**

リストア設定

項目	説明
リストアするファイル	復元するファイル名を入力するか、[参照...]をクリックしてファイルを選択します。

以下の手順でバックアップファイルを作成します。

1. **[参照...]をクリックします。**
2. **復元するバックアップファイルの格納場所に進みます。**

3. バックアップファイルを選び、［開く］をクリックします。

4. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。

5. ［OK］をクリックします。

補足

- 設定が正しく復元されなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。もう一度バックアップファイルから設定を復元してください。

省エネモードの設定をする

管理者設定ページの［省エネモード設定］タブをクリックして、省エネモードの設定をするページを表示します。予熱モード、省エネモードでは、電力の消費量を低く抑えます。

省エネモード設定

項目	説明
予熱モード	［有効］を選ぶと、待機状態のまま約 30 秒が経過すると、予熱モードに移行します。 予熱モードの消費電力は省エネモードより高くなりますが、短い時間で通常のモードに復帰します。
省エネモード	［有効］を選ぶと、待機状態のまま［移行時間］で設定された時間が経過すると（1～240 分）、省エネモードに移行します。 省エネモードの消費電力は予熱モードより低く抑えられますが、復帰に必要な時間が長くなります。

補足

- 予熱モードや省エネモードは、プリントジョブを受信したとき、またはプリンター操作部のキーが押されたときに解除されます。

6

機器の状態をメールで通知する

本機にトナーや用紙切れ、紙詰まりなどのアラートが発生したとき、メール通知機能を使用して機器の状態を通知できます。

重要

- **メール通知機能は、ネットワーク接続時のみ使用できます。**
- **メールソフトによっては、メールを受信したときに、フィッシングの警告が出る可能性があります。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照の上、送信者を警告対象外に設定してください。**

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。

以下の場合、メール通知できるよう設定できます。

- サービスコールが発生した場合
- トナーがなくなった場合
- トナーの残りがわずかになった場合
- 紙づまりがおきた場合
- ドアオープンが検知された場合
- 紙がなくなった場合

その他、機器名やシリアルナンバー、トータルカウンターなどのプリンター情報の確認もできます。

1. **Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**

   Web Image Monitor のトップページが表示されます。

2. **［ログイン］をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

3. **ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

4. **左フレーム内のメニューで［ネットワーク設定］をクリックします。**
5. **［自動メール通知］をクリックします。**
6. **［表示名］に送信者名を入力し、［メールアドレス］に受信アドレスを入力します。**

   2 箇所まで自動メール通知を設定できます。

7. **通知したい項目にチェックを入れます。**

8. 必要な場合、管理者パスワードを入力します。

9. ［OK］をクリックします。

- P.131「メールの認証について」

メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。

SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を行うことで SMTP サーバーの不正利用を防止します。

SMTP 認証の設定方法を説明します。

1. Web Image Monitor の左フレーム内のメニューで［ネットワーク設定］をクリックします。

2. ［ネットワーク設定］画面で［SMTP］をクリックします。

3. 設定画面に示された以下の項目を設定します。
   - 認証種類：［SMTP］または［POP before SMTP］を選択します。
   - 認証ユーザー名：SMTP 認証のユーザー名を入力します。
   - 認証パスワード：SMTP ユーザー名で設定されたパスワードを入力します。
   - 機器メールアドレス：e メールアドレスを入力します。

4. 必要な場合、管理者パスワードを入力します。

5. ［OK］をクリックします。

6. Web ブラウザーを閉じます。

SNMP

SNMP を使って本機の情報を取得できます。

本機内蔵のイーサネットインターフェースでは UDP 上で動作する SNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。

重要

- **本機のコミュニティ名を工場出荷時から変更した場合、Web Image Monitor を使用して接続するパソコンの設定を変更してください。**

工場出荷時のコミュニティ名には「public」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得できます。

システム設定リストの見かた

システム設定リストには、以下の内容が印刷されます。

システム設定リスト　お使いの機器名

ステム構成情報
モデル名　お使いの機器名
機番　:xxxx-xxxxxx
搭載メモリ　:64MB
ブートローダーVer.　:V0.51
ファームウェアVer.　:V0.71
エンジンFW Ver.　:B05_0

紙設定
- - - トレイ1
用紙サイズ　:A4
用紙種類　:普通紙

- - - トレイ2
用紙サイズ　:A4
用紙種類　:普通紙

- - - 手差しトレイ
用紙サイズ　:A4
用紙種類　:普通紙

優先給紙トレイ
- 優先トレイ：プリンター　:トレイ1

手差しトレイ設定選択　:全不定形サイズ紙種可

耗品情報
トナー（ブラック）　■■■■■ (S)
トナー（マゼンタ）　■■■■■ (H)
トナー（イエロー）　■■■■■ (H)
トナー（シアン）　■■■■■ (H)
定着ユニット　■■■■■
中間転写ユニット　■■■■■
転写ローラー　■■■■■
廃トナーボトル　:操作可能

ステム初期設定
インターフェース切替時間
- USBポート固定　:しない
- USB　:する 60 秒
- ネットワーク　:する 60 秒
- 機密印刷　:する 60 秒

ネットワーク設定
物理アドレス　:xx.xx.xx.xx.xx.xx
イーサネット速度設定　:自動設定

- - - TCP/IP
IPアドレス　:xxx.xxx.x.xxx.
サブネットマスク　:xxx.xxx.xxx.x.
デフォルトゲートウェイ　:xxx.xxx.x.xxx.
DHCP (IPv4)　:しない
IPアドレス取得　:指定
DNS方式　:自動的に取得（DHCP）
DNSサーバー1　:x.x.x.x
DNSサーバー2　:x.x.x.x
ドメイン名　:

ホスト名　:xxxx-xxxxxx
mDNS　:有効
プリンター名　:
xxxxxxxxxx
LPD　:有効
Rawソケット　:ポート9100: 有効
IPP　:有効
FTP　:有効

- - - SNMP
SNMP　:有効
Trap　:無効
Readコミュニティー　:
public
Trapアドレス1　:

Trapアドレス2　:

システムロケーション　:

システムコンタクト　:

- - - メール

SMTPサーバー　:

認証種類　:なし
メールアドレス1　:

メール通知1　:
該当なし　該当なし
該当なし　該当なし
該当なし　該当なし
メールアドレス2　:

メール通知2　:
該当なし　該当なし
該当なし　該当なし
該当なし　該当なし

カウンター
- - - トータルカウンター
トータルページ　:15
カラー　:0
ブラック　:15

- - - プリンター
印刷トータルページ　:0
カラー印刷　:0
ブラック印刷　:0
トナーセーブ印刷　:0

- - - カバレッジ
ブラック：カバレッジ　:0%
イエロー：カバレッジ　:0%
マゼンタ：カバレッジ　:0%
シアン：カバレッジ　:0%
ブラック：印刷ページ　:0
イエロー：印刷ページ　:0
マゼンタ：印刷ページ　:0
シアン：印刷ページ　:0

- - - トナーセーブ印刷
ブラック：カバレッジ　:0%
イエロー：カバレッジ　:0%
マゼンタ：カバレッジ　:0%
シアン：カバレッジ　:0%
ブラック：印刷ページ　:0
イエロー：印刷ページ　:0
マゼンタ：印刷ページ　:0
シアン：印刷ページ　:0

- - - 両面
両面トータルページ　:0

- - - トナー本数（高イールド/低イールド）
トナー（ブラック）　: 0 / 0
トナー（マゼンタ）　: 0 / 0
トナー（イエロー）　: 0 / 0
トナー（シアン）　: 0 / 0

管理者用設定
IPsec　:有効

省エネモード設定
- 予熱モード　:する

IPv6設定
IPv6　:有効
DHCP　:無効
IPアドレス(DHCP)　:

- - - - - - ステートレスアドレス
ステートレスアドレス1　:

ステートレスアドレス2　:

ステートレスアドレス3　:

ステートレスアドレス4　:

リンクローカルアドレス　:
xxxx::xxx:xxxx:xxxx:xxxx
手動設定アドレス　:

プレフィックス長　:0
DNS方式　:自動的に取得（DHCP）
プライマリーDNSサーバー　:

セカンダリーDNSサーバー　:

ドメイン名　:

デフォルトゲートウェイ　:

ゲートウェイ（手動アドレス）　:

1. **システム構成情報**

- モデル名

プリンターのモデル名を示します。

- 機番

製造元で割り当てられたシリアル番号を示します。

- 搭載メモリ

プリンターの搭載メモリー容量を示します。

- ブートローダー Ver.

プリンターのブートローダーバージョンを示します。

- ファームウェア Ver.

プリンターのファームウェアバージョンを示します。

- エンジン FW Ver.

プリンターエンジンのファームウェアバージョンを示します。

2. 用紙設定

［用紙設定］メニューの設定を示します。詳細は P.83「用紙設定メニューの項目」を参照してください。

3. 消耗品情報

消耗品の残量についての情報を示します。

- トナー（ブラック）
- トナー（マゼンタ）
- トナー（イエロー）
- トナー（シアン）
- 定着ユニット
- 中間転写ユニット
- 転写ローラー
- 廃トナーボトル

4. システム初期設定

プリンターの設定を示します。

- インターフェース切り替え時間
- エラースキップ

5. カウンター

現在のカウンター情報を示します。

6. 管理者用設定

以下の設定を示します。

- IPsec
- 省エネモード設定
- 表示言語切替

7. ネットワーク設定

ネットワーク関連設定を示します。

8. IPv6 設定

IPv6 設定を示します。

補足

- システム設定リストは操作部または Web Image Monitor から出力できます。詳しくは、「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- 中間転写ユニット、定着ユニット、転写ローラー項目は、IPSiO SP C241 をお使いの場合にのみ表示されます。

参照

- P.82「用紙設定メニュー」

- P.90「システム設定メニュー」
- P.93「インターフェース設定メニュー」
- P.86「システム設定リストを印刷する」
- P.125「レポートを印刷する」

7. プリントサーバーを使用する

プリントサーバーを使用するための設定方法について説明します。

プリントサーバーの準備

以下の手順でネットワークプリンターを設定してください。

重要

- **［プリンタ］フォルダーから、プリンタープロパティを変更するには、Windows 2000/XP Professional または Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 の場合、［プリンタの管理］のアクセス権が必要です。また、Windows Vista/7 の場合、すべてにアクセスできる認証権限が必要です。Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。**

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタ］ウィンドウを開きます。**

   ［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

   Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

2. **本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

3. **［共有］タブをクリックし、［共有する］にチェックマークを付けます。**

4. **本機を他のバージョンの Windows を使用しているユーザーと共有する場合は、［追加ドライバ］をクリックします。**

   プリンタードライバーをインストールしたときに、［共有］にチェックマークを付けて代替ドライバーをインストールした場合、この操作は必要ありません。

5. **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

7

8. Windows の補足情報

Windows で、コマンドを使ってファイルを開くことなく直接印刷する場合の手順について説明します。

Windows からのファイル直接印刷

lpr コマンドを使って印刷できます。

- **この方法で印刷できるファイルは、DDST ドライバーで作成されたファイルのみです。**

セットアップ

Windows からファイルを直接印刷するための、環境設定の方法について説明します。

以下の手順でセットアップを行ってください。

1. **操作部を使用して TCP/IP プロトコルを有効にし、IP アドレスなど TCP/IP に関するネットワーク環境を設定します。**

   本機の TCP/IP プロトコルは、工場出荷時は有効に設定されています。

2. **Windows に TCP/IP プロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。**

   ネットワークに関する設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。

   DHCP を使用して本機の IP アドレスを設定できます。詳しくは「DHCP を使用する」を参照してください。

   ホスト名を定義している場合は、IP アドレスの代わりにホスト名も使用できます。詳しくは「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

3. **ネットワークソフトウェアとして「UNIX 用印刷サービス」を組み込みます。**

- 「UNIX 用印刷サービス」について詳しくは、Windows ヘルプを参照してください。

参照

- P.163「DHCP を使用する」
- P.140「IPv4 アドレスの代わりにホスト名を使用する」

IPv4 アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPv4 アドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定できます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNS を使用している場合

DNS サーバー上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCP を使用してプリンターの IPv4 アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター ID」に印刷された名前をホスト名として使用します。システム設定リストの印刷について詳しくは、「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

参照

- システム設定リストの印刷について詳しくは、P.86「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- Web Image Monitor を使用したシステム設定リストの印刷について詳しくは、P.125「レポートを印刷する」を参照してください。

その他の場合

印刷を行うコンピュータの hosts ファイルに、ネットワークプリンターの IPv4 アドレスとホスト名を追加します。追加の方法は、使用している OS により異なります。

1. メモ帳などで hosts ファイルを開きます。

hosts ファイルは以下の場所にあります。

¥Windows¥System32¥drivers¥etc

2. hosts ファイルに IPv4 のアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

192.168.15.16 ricoh # NP

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、ricoh はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

3. ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr および ftp コマンドを使った印刷方法の説明です。

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各 Windows でのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

- Windows 2000 の場合

  ［スタート］ - ［プログラム］ - ［アクセサリ］ - ［コマンドプロンプト］

- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 の場合

  ［スタート］ - ［すべてのプログラム］ - ［アクセサリ］ - ［コマンドプロンプト］

補足

- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求が満杯の状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
  - lpr: 10
  - ftp: 3
- ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

lpr

IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合

c:¥> lpr -S プリンターの IP アドレス -P プリンター名 [-ol] ¥パス名¥ファイル名

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合

c:¥> lpr -S プリンターのホスト名 -P プリンター名 [-ol] ¥パス名¥ファイル名

バイナリーファイルを印刷する場合は -ol（小文字の O と、小文字の L）オプションを付けてください。

ftp

印刷するファイル数に応じて、put または mput コマンドを使います。

1 ファイルを印刷する場合

ftp> put ¥パス名¥ファイル名 ［オプション］

複数のファイルを印刷する場合

ftp> mput ¥パス名¥ファイル名 ［¥パス名¥ファイル名...］

1. **本機の IP アドレス（または hosts ファイルに設定した本機のホスト名）を 引数にして ftp コマンドを起動します。**

   % ftp 本機の IP アドレス（またはホスト名）

2. **ユーザー名とパスワードを入力し、［Enter］キーを押します。**

   User:sysadm

Password:sysadm

3. バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

ftp> bin

バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく 印刷されないことがあります。

4. 印刷するファイルを指定します。

以下はC:¥PRINTディレクトリにある、file1とfile2を印刷する例です。

ftp> mput C:¥PRINT¥file1.prn C:¥PRINT¥file2.prn

5. ftpを終了します。

ftp> bye

補足

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション 文字列と判断してしまいます。
- mputコマンドではオプションを指定できません。
- mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷 されないことがあります。

9. Mac OS X で使用する

この章では、Mac OS X の環境での本機の使用方法について説明します。

お使いの OS のバージョンにより、表示される画面やボタンの名称は異なります。

プリンタードライバーのインストール

TCP/IP 環境または USB インターフェースを使用して本機を接続する場合の、設定方法について説明します。

1. **本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**
2. **CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。**
3. **［Mac OS X］フォルダーをダブルクリックします。**
4. **［DDST ドライバー］のフォルダーをダブルクリックします。**
5. **お使いの Mac OS のバージョンフォルダをダブルクリックします。**
6. **パッケージファイル（.pkg）のアイコンをダブルクリックします。**
7. **画面に表示される指示に従ってインストールします。**

- インストールの途中で認証画面が表示された場合は、お使いのパソコンの管理者名とログインパスワードを入力してください。

9

プリンターの設定

本機を設定する方法を説明します。

USB 接続で本機を使用する場合

USB インターフェースを使用して本機に接続する設定について説明します。

Mac OS X 10.3 の場合

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。
2. デスクトップのハードドライブのアイコンをダブルクリックします。
3. [アプリケーション] をダブルクリックして、[ユーティリティ] をダブルクリックします。
4. [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。

   [プリンタリスト] ダイアログが表示されます。
5. [追加] をクリックします。
6. プルダウンメニューから [USB] を選択します。
7. 一覧に表示された本機を選択し、[プリンタの種類：] に本機の名前が表示されていることを確認し、[追加] をクリックします。

   [プリンタの種類：] に本機の名前が表示されていない場合は、プルダウンメニューから [Ricoh] を選択し、表示された一覧から本機を選択して [追加] をクリックします。
8. [プリンタリスト] に本機が追加されたことを確認します。
9. メニューバーの [プリンタ設定ユーティリティ] から [プリンタ設定ユーティリティを終了] をクリックし、[ユーティリティ] ダイアログを閉じます。

Mac OS X 10.4 の場合

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。
2. デスクトップのハードドライブのアイコンをダブルクリックします。
3. [アプリケーション] をダブルクリックして、[ユーティリティ] をダブルクリックします。
4. [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。

   [プリンタリスト] ダイアログが表示されます。

5. [追加] をクリックします。

6. [接続] が [USB]、[プリンタ名] に本機の名前が表示されているプリンターを選択し、[使用するドライバ：] に本機が表示されているのを確認し、[追加] をクリックします。

   [使用するドライバ：] に本機の名前が表示されない場合は、プルダウンメニューから [Ricoh] を選択し、表示された一覧から本機を選択して、[追加] をクリックします。

   使用するドライバーが選択されてないと[追加]がクリックできません。

7. [プリンタリスト] に本機が追加されたことを確認します。

8. メニューバーの [プリンタ設定ユーティリティ] から [プリンタ設定ユーティリティを終了] をクリックし、[ユーティリティ] ダイアログを閉じます。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

2. アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。

3. 「ハードウェア」のカテゴリーにある [プリントとファクス] をクリックします。

4. 機器の一覧からプラグアンドプレイで認識された本機を選択し、ダイアログの左下の [－] (削除) ボタンをクリックします。

   プラグアンドプレイで認識されたプリンターでも印刷は可能ですが、Mac OS X の仕様によりドライバーの一部の画面が英語表示されます。ここでは、英語表示を避けるため、認識されたプリンターをいったん削除します。

5. 削除の確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

   使用している OS が Mac OS X 10.6 のときは、[プリンタを削除] をクリックします。

6. [プリントとファクス] ダイアログの左下の [＋] (追加) ボタンをクリックします。

7. [デフォルト] をクリックします。

   接続している機器が、一覧表示されます。

8. 一覧から [種類] が [USB] の本機を選択します。

9. [ドライバ:] に本機の名前が表示されたのを確認し、[追加] をクリックします。

10. [インストール可能なオプション] ダイアログで、オプションを選択し、[続ける] をクリックします。

11. ［プリントとファクス］のプリンターの一覧に、本機が追加されたことを確認します。
12. メニューバーの［システム環境設定］から［システム環境設定を終了］をクリックし、ダイアログを閉じます。

TCP/IP ポートで本機を使用する場合

イーサネットケーブルを使用して本機に接続する設定について説明します。

Mac OS X 10.3 の場合

1. 本機とパソコンをイーサネットケーブルで接続します。
2. デスクトップのハードドライブのアイコンをダブルクリックします。
3. ［アプリケーション］をダブルクリックして、［ユーティリティ］をダブルクリックします。
4. ［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

   ［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。
5. ［プリンタリスト］ダイアログの［追加］をクリックします。
6. プルダウンメニューから［Rendezvous］を選択します。
7. 表示された一覧から、本機を選択し、［プリンタの機種：］に本機の名前が表示されたのを確認して、［追加］をクリックします。本機を追加できた場合は、手順 10 に進みます。

   ［プリンタの機種：］に本機の名前が表示されない場合は、プルダウンメニューから［Ricoh］を選択し、表示された一覧から本機を選択し、［追加］をクリックします。本機を追加できた場合は、手順 10 に進みます。
8. 手順 7 で接続されているプリンターが表示されなかった場合は、プルダウンメニューから［IP プリント］を選択し、［プリンタのアドレス：］に本機の IP アドレスを入力します。
9. ［プリンタの機種：］のプルダウンメニューから［Ricoh］を選択して、表示された一覧から本機を選択し、［追加］をクリックします。
10. ［プリンタリスト］に本機が追加されたことを確認します。
11. メニューバーの［プリンタ設定ユーティリティ］から［プリンタ設定ユーティリティを終了］をクリックし、［ユーティリティ］ダイアログを閉じます。

Mac OS X 10.4 の場合

1. 本機とパソコンをイーサネットケーブルで接続します。
2. デスクトップのハードドライブのアイコンをダブルクリックします。
3. [アプリケーション] をダブルクリックして、[ユーティリティ] をダブルクリックします。
4. [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。

   [プリンタリスト] ダイアログが表示されます。
5. [プリンタリスト] ダイアログの [追加] をクリックします。

   新規にプリンターを追加する場合は、追加の確認画面が表示されますので、[追加] をクリックします。
6. デフォルトブラウザーの一覧に、接続しているプリンターが表示されます。
7. [プリンタブラウザ] の一覧から、[接続] が [Bonjour] で、本機の名称が [プリンタ名] に表示された機器を選択し、[使用するドライバ：] に本機の名前が表示されたのを確認して、[追加] をクリックします。本機を追加できた場合は、手順 10 に進みます。

   [使用するドライバ：] に本機の名前が表示されない場合は、プルダウンメニューから [Ricoh] を選択し、表示された一覧から本機を選択し、[追加] をクリックします。本機を追加できた場合は、手順 10 に進みます。
8. 手順 7 で [プリンタブラウザ] の一覧に Bonjour 接続のプリンターが表示されない場合は、[IP プリンタ] をクリックし、[アドレス：] に本機の IP アドレスを入力します。
9. [使用するドライバ：] のプルダウンメニューから [Ricoh] を選択して、表示された一覧から本機を選択し、[追加] をクリックします。
10. [プリンタリスト] に本機が追加されたことを確認します。
11. メニューバーの [プリンタ設定ユーティリティ] から [プリンタ設定ユーティリティを終了] をクリックし、[ユーティリティ] ダイアログを閉じます。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

1. 本機とパソコンをイーサネットケーブルで接続し、本機の電源を入れます。
2. アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。
3. 「ハードウェア」のカテゴリーにある [プリントとファクス] をクリックします。
4. [プリントとファクス] ダイアログの左下の [+] (追加) ボタンをクリックします。

5. ［デフォルト］をクリックします。

   接続している機器が、一覧表示されます。

6. 一覧から［種類］が［Bonjour］で、［プリンタ名］に本機の名称が表示された機器を選択します。

7. ［ドライバ：］に本機が表示されたのを確認して、［追加］をクリックします。

   本機を追加できた場合は、手順 10 に進みます。

8. 手順 6 で一覧に Bonjour 接続のプリンターが表示されない場合は、ツールバーの［IP］をクリックします。

9. ［アドレス：］に本機の IP アドレスを入力します。［ドライバ：］に本機が表示されたのを確認して、［追加］をクリックします。

10. ［インストール可能なオプション］ダイアログで、オプションを選択し、［続ける］をクリックします。

11. ［プリントとファクス］の一覧に該当プリンターが追加されたことを確認します。

12. メニューバーの［システム環境設定］から［システム環境設定を終了］をクリックし、ダイアログを閉じます。

オプションを設定する

オプションの設定方法を説明します。

Mac OS X 10.3/10.4 の場合

1. デスクトップのハードドライブのアイコンをダブルクリックします。
2. ［アプリケーション］をダブルクリックして、［ユーティリティ］をダブルクリックします。
3. ［プリントセンター］、または［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。
4. 本機を選択して、［情報を見る］をクリックします。

   ［プリンタ情報］ウィンドウが表示されます。
5. プルダウンメニューから［インストール可能なオプション］を選択して、必要な設定をします。
6. ［変更を適用］をクリックします。
7. プリントセンター、またはプリンタ設定ユーティリティを終了します。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。
2. 「ハードウェア」のカテゴリーにある［プリントとファクス］をクリックします。
3. 本機を選択して、［オプションとサプライ....］をクリックします。
4. ［ドライバ］タブをクリックし、必要な設定をします。
5. ［OK］をクリックします。
6. メニューバーの［システム環境設定］から［システム環境設定を終了］をクリックし、ダイアログを閉じます。

印刷に必要な条件を設定をする

印刷する前に必要な設定について説明します。

アプリケーションから用紙を設定する

1. **印刷するファイルを開きます。**
2. **[ファイル] メニューの [ページ設定...] または、[プリント設定...] をクリックします。**
3. **本機が [対象プリンタ] に表示されていることを確認し、[用紙サイズ] を選択して印刷する用紙サイズの設定をします。**

   [対象プリンタ] に本機が表示されない場合は、本機を選択してください。
4. **必要な設定をした後、[OK] をクリックします。**

補足

- [プリント] ダイアログの表示はアプリケーションによって多少異なります。詳細は Mac OS X のマニュアルを参照してください。

アプリケーションから印刷条件を設定する

1. **印刷するファイルを開きます。**
2. **[ファイル] メニューの [プリント] または、[プリント...] をクリックします。**
3. **[プリンタ] のリストから本機を選択し、印刷条件を設定します。**
4. **必要な設定をした後、[プリント] をクリックします。**

パソコンから印刷ジョブを中止する

Mac OS X 10.3/10.4 の場合

1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。
2. ［ハードウェア］のカテゴリーにある［プリントとファクス］をクリックします。
3. プリントタブをクリックし、［プリンタ］リストに表示されている本機の名前をダブルクリックします。

   Mac OS X 10.3 の場合は、プリントタブをクリックし、［プリンタを設定...］をクリックし、［プリンタリスト］に表示されている本機の名前をダブルクリックします。
4. 印刷を取り消すジョブを選択し、［削除］をクリックします。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。
2. 「ハードウェア」のカテゴリーにある［プリントとファクス］をクリックします。
3. ［プリンタ］リストに表示されている本機の名前をダブルクリックします。
4. 印刷を取り消すジョブを選択し、［削除］をクリックします。

補足

- 複数のパソコンで本機を共有している場合、他のユーザーのジョブを中止しないようご注意ください。
- 印刷中のデータは印刷の中止ができません。そのため、印刷ジョブを取り消してからしばらくはデータの印刷が続くことがあります。
- 大容量データの印刷を中止するには多少時間がかかることがあります。

10. 付録

同梱の CD-ROM や、その他の注意事項等についての説明です。

CD-ROM 収録ソフトウェア

ここでは、本機に同梱されている CD-ROM について説明しています。

ファイル一覧

CD-ROM に入っているファイルの一覧です。

ファイル名	参照
SETUP.EXE	P.15「印刷するための準備」
DDST プリンタードライバー（Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 用）	P.153「DDST プリンタードライバー」
DDST プリンタードライバー（Mac OS X 用）	P.153「DDST プリンタードライバー」
各種マニュアル（HTML/PDF ファイル）	P.154「各種マニュアル（HTML/PDF ファイル）」

DDST プリンタードライバー

Windows または Mac OS X を使用して印刷するために必要なソフトウェアです。

格納場所と動作環境について

ファイルの格納場所と動作環境について説明します。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008 用 DDST プリンタードライバー

  DRIVERS¥DDST¥XP_VISTA¥DISK1

- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 用 64bit 版 DDST プリンタードライバー

  DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

- Mac OS X 用 DDST プリンタードライバー

Mac OS X¥DDST Driver

プリンタードライバーの動作環境

- パソコン

  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機

- 対象 OS

  Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

  Power PC 日本語版 Mac OS X 10.3 以降

  IntelCPU 日本語版 Mac OS X 10.4.4 以降

- ディスプレイ解像度

  1024×768 ドット以上

- 使用方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

各種マニュアル（HTML/PDF ファイル）

各種マニュアル（HTML/PDF ファイル）のファイル格納場所についての説明です。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内に格納されています。

IPv6 環境で使用できる機能およびネットワーク設定

IPv6 環境で使用できる本機の機能およびネットワーク設定は、IPv4 環境と異なります。お使いの機能が IPv6 環境でサポートされているかどうかご確認の上、必要なネットワーク設定を行ってください。

参照

- IPv6 の設定について詳しくは、P.93「インターフェース設定メニュー」または P.109「インターフェース切り替え時間を設定する」を参照してください。

使用できる機能

FTP を経由した印刷

EPRT および EPSV コマンドを使用し、FTP を経由して印刷します。コマンドを実行するには、Windows Vista/7 および IPv6 をサポートする FTP アプリケーションが必要となります。

プリンター

プリンタードライバーを使用して、印刷します。

Bonjour

ネットワーク上の Bonjour プロトコル対応コンピュータと通信できます。IPv6 によってサポートされたマルチキャストグループの IP アドレスは、ff02::fb です。

Web Image Monitor

プリンターの状態を確認し、Web ブラウザーを使って設定を行うことができます。

設定リスト

プリンターの設定リストを印刷して、IP アドレスなどの設定内容を確認できます。

IPsec を使って通信する

ネットワーク管理者が設定します。

本機には IPsec 機能が搭載されています。IPsec は IP プロトコルのレベルで、セキュアなパケット単位の通信を行います。暗号化には送信者、受信者が同じ鍵を保有する共通鍵暗号方式を使用します。本機は通信者双方に共通鍵を設定する方法として、手動鍵設定方式と自動鍵交換設定方式を搭載しています。自動鍵交換設定を使用すると、IPsec の共有鍵を設定した時間で更新し、よりセキュリティー強度の高い通信を行うことができます。

重要

- **IPSec 設定の問題により、Web Image Monitor にアクセスできない場合、操作部の［ネットワークセッテイ］で IPSec を無効にしてから Web Image Monitor にアクセスしてください。**
- **DHCP、DNS、WINS で取得する情報、およびパケットについては、IPsec の対象にならないものがあります。**
- **IPsec に対応している OS は Windows XP、Windows Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS X 10.4.8 以降、RedHat Linux Enterprise WS 4.0、Solaris 10 です。ただし、OS によって対応していない設定項目があります。IPsec の設定を行うときは、必ず OS 側の IPsec 設定内容を確認し、同一の設定を行ってください。**

参照

- Web Image Monitor を使用した IPSec 設定について詳しくは、P.120「IPsec の設定をする」を参照してください。
- 操作部での IPSec 有効／無効の設定について詳しくは、P.162「操作部で IPSec を有効／無効にする」を参照してください。

通信データの暗号化と認証

IPsec には、データの機密性を確保する「暗号化」機能と、データ送信者が正しいこと、またデータが改ざんされていないことを証明する「認証」機能の 2 つの機能が存在します。本機の IPsec 機能は、2 つの機能を同時に有効にする ESP プロトコルと認証のみの機能を有効にする AH プロトコルの 2 つのセキュリティープロトコルに対応しています。

ESP プロトコル

データの暗号化と、ヘッダ以外のパケットの認証の両方に対応したセキュリティー通信を行います。

- 暗号化を行うためには送信側、受信側ともに同一の暗号化アルゴリズムと暗号鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、暗号化アルゴリズムと暗号鍵は自動的に設定されます。

- 認証を行うためには送信側、受信側ともに同一の認証アルゴリズムと認証鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、認証アルゴリズムと認証鍵は自動的に設定されます。

AH プロトコル

ヘッダを含むパケットの認証のみに対応したセキュリティー通信を行います。

- 認証を行うためには送信側、受信側ともに同一の認証アルゴリズムと認証鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、認証アルゴリズムと認証鍵は自動的に設定されます。

AH プロトコル + ESP プロトコル

データの暗号化と、ヘッダを含むパケットの認証の両方に対応したセキュリティー通信を行います。

- 暗号化を行うためには送信側、受信側ともに同一の暗号化アルゴリズムと暗号鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、暗号化アルゴリズムと暗号鍵は自動的に設定されます。
- 認証を行うためには送信側、受信側ともに同一の認証アルゴリズムと認証鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、認証アルゴリズムと認証鍵は自動的に設定されます。

補足

- お使いの OS によっては、「認証」は「整合性」という名称を使用していることがあります。

自動鍵交換設定と手動鍵設定

本機は鍵の設定方式として、自動鍵交換設定、手動鍵設定の 2 種類に対応しています。鍵設定によって、IPsec 通信に使用するアルゴリズムや鍵などの約束事を送信者、受信者双方に設定します。この約束事を SA (Security Association)と呼びます。送信者、受信者で SA 設定内容が一致していないと IPsec 通信を行うことができません。

自動鍵交換設定方式では、SA の設定が自動的に行われますが、最初に ISAKMP SA が自動設定（フェーズ 1）され、続いて IPsec 通信のための IPsec SA が自動設定（フェーズ 2）されます。また、より高いセキュリティーを確保した通信を行うために、設定の有効期間を定めることで SA の定期的な自動更新を可能にします。本機の自動鍵交換設定方式は IKEv1 のみ対応しています。

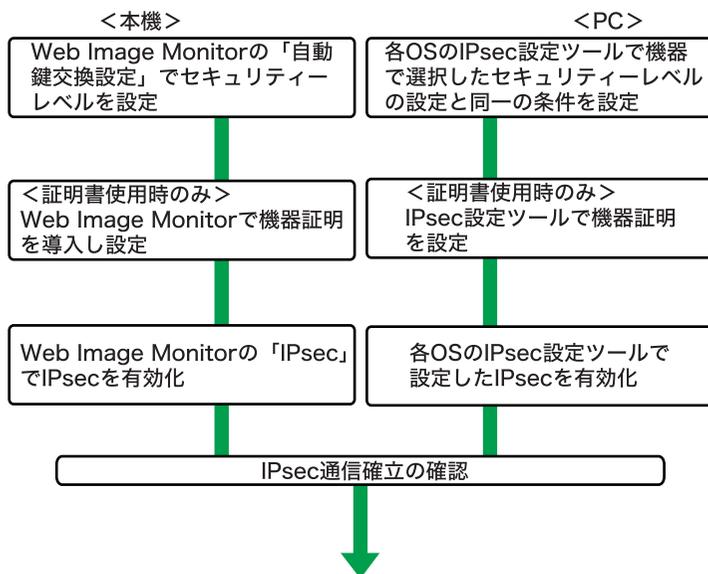
手動鍵設定方式では、事前に送信者、受信者で IPsec 通信のための IPsec SA 情報を共有しそれぞれに設定します。この場合、鍵情報の漏洩を防ぐために、情報の交換はネットワークを使用せずに行うことをお勧めします。

自動鍵交換設定、手動鍵設定ともに、SA の設定を複数設定することができます。

個別設定とデフォルト設定

自動鍵交換設定、手動鍵設定ともに、IPsec で使用するアルゴリズムや鍵などの SA 設定を個別に 4 種類設定することができます。また個別設定に含まれない通信相手を対象としたデフォルト設定を別途設定することも可能です。個別設定の優先度は 1 が最も高く 4 が最も低くなります。優先度の低い個別設定で設定対象となる IP アドレス範囲を指定し、その範囲内の特定の通信者のみを対象とした個別設定を行いたいときは、上位の個別設定でその通信者のみを指定して設定を行うと上位の設定が有効になります。

自動鍵交換設定のながれ

自動鍵交換設定の設定手順を説明します。ネットワーク管理者が設定します。

重要

- **自動鍵交換設定で通信相手の認証方法に証明書を使用する場合は、機器証明書の導入が必要です。**
- **IPsec 設定後、正しく通信が確立されているかどうかの確認は Ping コマンドを使用して確認することができます。また、鍵交換設定中は応答がないため、通信確立の確認に時間がかかることがあります。**

自動鍵交換設定をする

重要

- [IP 設定] メニューを表示させるには、管理者パスワードを指定する必要があります。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。

   IPv4 アドレスを入力する場合、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」の場合は、「192.168.1.10」と入力します。

   「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。
3. [管理者用設定] をクリックし、管理者用設定の [新規パスワード] および [新規パスワード確認] にパスワードを入力します。

   左メニュー画面に [IPSec 設定] メニューが表示されます。
4. [IPSec 設定] をクリックします。
5. [IPsec ポリシーリスト] をクリックします。
6. リストの中で変更したい設定番号を選択し、[変更] をクリックします。
7. 必要に応じて、IPSec に関連する設定を変更します。
8. 管理者パスワードを入力し、[適用] をクリックします。
9. [IPSec グローバル設定] タブをクリックし、[IPSec 機能] を [有効] にします。
10. 必要に応じて、[IPSec デフォルトポリシー]、[ブロードキャストとマルチキャストに適用しない]、[全ての ICMP に適用しない] も設定します。
11. 管理者パスワードを入力し、[適用] をクリックします。

PC で IPsec の条件を設定する

機器で選択したセキュリティーレベルの IPsec SA 設定と同一の条件を PC 側で設定します。設定方法は OS によって異なります。ここではセキュリティーレベルで「認証と暗号化（低）」を選択したときの Windows XP 側の設定を例に説明します。

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル] ー [パフォーマンスとメンテナンス] ー [管理ツール] をクリックします。
2. [ローカルセキュリティポリシー] をダブルクリックします。
3. [ローカルコンピュータの IP セキュリティポリシー] をクリックします。

4. ［操作］メニューから［IP セキュリティポリシーの作成］をクリックします。

   ［IP セキュリティポリシーウィザード］が表示されます。

5. ［次へ］をクリックします。

6. 任意の IP セキュリティポリシー名を入力し、［次へ］をクリックします。

7. 「既定の応答規則をアクティブにする」のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

8. 「プロパティを編集する」にチェックを入れ、［完了］をクリックします。

9. ［全般］タブを選択し、［詳細設定］をクリックします。

10. 「新しいキーを認証して生成する間隔」に機器の自動鍵交換設定のフェーズ 1 で設定した有効期間を分単位で入力し、［メソッド］をクリックします。

11. 機器の自動鍵交換設定のフェーズ 1 で選択されている「暗号化」（暗号化アルゴリズム）、「整合性」（ハッシュアルゴリズム）、「Diffie-Hellman グループ」の組み合わせが［セキュリティメソッドの優先順位］に存在しているか確認します。

    存在しない場合は［追加］をクリックし作成します。

12. ［OK］を 2 回クリックします。

13. ［規則］タブを選択し、［追加］をクリックします。

    ［セキュリティの規則ウィザード］が表示されます。

14. ［次へ］をクリックします。

15. 「この規則ではトンネルを指定しない」にチェックを入れ、［次へ］をクリックします。

16. IPsec を適用するネットワークの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

17. 認証方法を選択して［次へ］をクリックします。

    機器の自動鍵交換設定の認証方法で証明書を選択している場合は、機器証明書を設定します。PSK を選択している場合は、事前共有キーとして機器で設定した PSK と同じ文字列を入力します。

18. 「IP フィルター覧」で［追加］をクリックします。

19. 「名前」に任意の IP フィルタ名を入力し、［追加］をクリックします。

    ［IP フィルタウィザード］が表示されます。

20. ［次へ］をクリックします。

21. 「発信元アドレス」で「このコンピュータの IP アドレス」を選択し、［次へ］をクリックします。

22. 「宛先アドレス」で「特定の IP アドレス」を選択し、機器の IP アドレスを入力して［次へ］をクリックします。

23. IPsec の対象とするプロトコルを選択し、[次へ] をクリックします。

24. [完了] をクリックします。

25. [OK] をクリックします。

26. 設定した IP フィルタを選択し、[次へ] をクリックします。

27. フィルタ操作の種類を選択し、[編集] をクリックします。

28. [セキュリティメソッド] タブの「セキュリティのネゴシエート」選択し、[追加] をクリックします。

29. 「カスタム」を選択し、[設定] をクリックします。

30. 「整合性アルゴリズム」で機器の自動鍵交換設定のフェーズ 2 で選択されている認証アルゴリズムを選択します。

31. 「暗号化アルゴリズム」で機器の自動鍵交換設定のフェーズ 2 で選択されている暗号化アルゴリズムを選択します。

32. 「セッションのキーの設定」で「新しいキーの生成間隔 (R)」にチェックを入れ、機器の自動鍵交換設定のフェーズ 2 で設定した有効期間を秒単位で入力します。

33. [OK] を 3 回クリックします。

34. [次へ] をクリックします。

35. [完了] をクリックします。

Windows Vista 以降で IPv6 を使用する場合、加えて手順 13 から ICMPv6 の除外設定を行ってください。

その際、手順 23 では対象とするプロトコルで [その他] のプロトコル番号 [58] を選択し、[セキュリティのネゴシエート] を許可する設定にしてください。

36. [OK] を押します。

37. [閉じる] をクリックします。

新しい IP セキュリティポリシー (IPsec 設定) が設定されます。

38. 設定したセキュリティポリシー名を選択し、右クリックして [割り当て] をクリックします。

PC の IPsec 設定が有効になります。

補足

- PC の IPsec を無効にするときは、設定したセキュリティポリシー名を選択し、右クリックして [割り当ての解除] をクリックします。
- 自動鍵交換設定でセキュリティレベルを「認証と暗号化 (高)」に指定する場合、手順 27 にあるセキュリティフィルタープロパティ画面の PFS チェックボックスも選択してください。Windows XP で PFS を使う場合、自動鍵交換設定のフェーズ 2 で使わ

れる PFS グループ番号は、ステップ 11 にある Diffie-Hellman グループ番号から自動的に変換されます。このため、機器の自動鍵交換設定で指定されたセキュリティレベルを変更し、「ユーザー設定」が表示される状況で IPsec を有効にするには、機器の「Diffie-Hellmanグループフェーズ１」と「PFS フェーズ２」のグループ番号を同じにしなければなりません。

操作部で IPSec を有効／無効にする

1. ［メニュー］キーを押します。
2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェースセッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。
3. ［▼］［▲］キーを押して［ネットワークセッテイ］を表示させ、［OK］キーを押します。
4. ［▼］［▲］キーを押して［IPSec］を表示させ、［OK］キーを押します。
5. ［▼］［▲］キーを押して［ユウコウ］または［ムコウ］を選択し、［OK］キーを押します。
6. ［メニュー］キーを押して、初期画面に戻ります。

補足

- ［キャンセル］キーを押すと、前階層のメニューに戻ります。

ネットワークで運用する場合の注意事項

DHCP を使用する

本機は DHCP 環境で使用できます。

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows 2000 Server および Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 です。
- DHCP リレーエージェントには対応していません。ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線に接続され、多大な通信料がかかることがあります。
- 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx で始まるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

本機の IP アドレスに、AutoNet 機能で自動選択された IP アドレスを設定すると、本機の電源を切るたびに IP アドレスは変更されます。

ご使用のネットワーク環境に適した、IP アドレスを設定することをお勧めします。

補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IP アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷できなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。

Windows ターミナルサービス/Citrix Presentation Server 4.5/XenApp を使用する場合

詳細については、以下のリコーホームページを参照してください。

対応状況について

- Citrix Presentation Server 4.5

  http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/meta.html

- Citrix XenApp 5.0

  http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/xa50.html

- Citrix XenApp 6

  http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/xa60.html

制約事項と補足について

http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/meta_sub.html

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

expat

本製品に搭載しているコントローラなどのソフトウェア（以下、ソフトウェア）には expat を下記の条件のもとで使用しています。

- expat を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd. and Clark Cooper
Copyright © 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files （the “Software”）, to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- expat に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://expat.sourceforge.net/

JPEG LIBRARY

The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

商標

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer 6 の正式名称は Microsoft® Internet Explorer® 6 です。

Adobe®、Acrobat®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での商標です。

Apple、Bonjour、Macintosh、Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

PictBridge は商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における商標登録です。

Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Windows オペレーションシステムの正式名称は以下のとおりです。

- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 2000 Professional

  Microsoft® Windows® 2000 Server

  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

  Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Server

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional Edition

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

  Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Starter

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Datacenter Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

  Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter

  Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-based Systems

  Microsoft® Windows® Web Server 2008

  Microsoft® Windows® HPC Server 2008

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 for Itanium-based Systems

  Microsoft® Windows® Web Server 2008 R2

索引

記号・数字

アルファベット

あ

か

さ

た

株式会社リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP C241/IPSiO SP C230L 使用説明書〈ソフトウェアガイド〉

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOHのホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120-000-475
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。
- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

JA　JP　2011年5月　M094-8505